

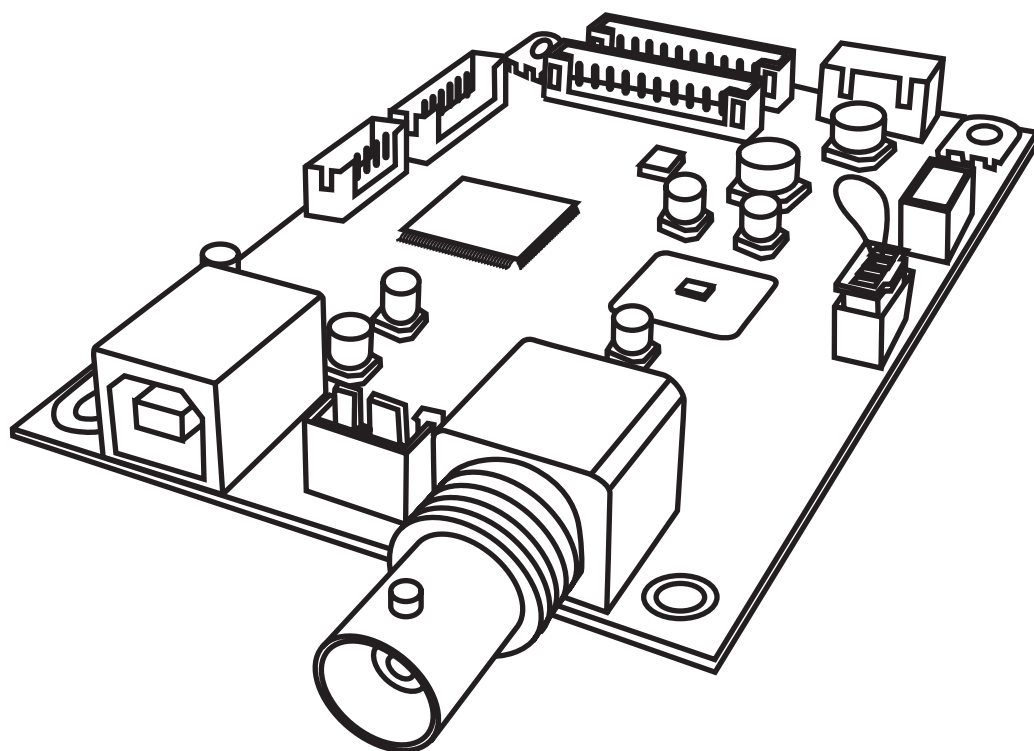
**RexA**  
for HD music

DSD & PCM 24bit/192kHz 対応  
USB-DDC ハイエンド Kit

# REX-K24192DSDU

ユーザーズマニュアル ソフトウェア編

2013年10月 第1.0版



ラトックシステム株式会社

 **RATOC Systems, Inc.**

- 本書の著作権はラトックシステム株式会社にあります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一不審な点や誤りなどお気づきになりましたらご連絡お願い申し上げます。
- 本書の一部または全部を無断で使用・複製することはできません。
- 本書の内容は、将来予告なく変更する場合があります。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有しておりますが、弊社はその使用許諾契約により本商標の使用が認められています。
- Windows、Windows Media は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、MacOS、iTunes は、Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他本書に記載されている商品名 / 社名などは、各社の商標または登録商標です。  
なお本書では、TM、R マークは明記しておりません。

## 【接続 / インストール編】

- 1 ドライバーのインストール (Windows のみ) . . . . . 3
- 2 パソコンから音楽を再生する準備 . . . . . 5
- 3 パソコンから音楽を再生する . . . . . 6

## 【トラブル解決編】

- 1 パソコンでの認識状態を確認する . . . . . 7
- 2 OS エラー音を転送したくないときは . . . . . 10
- 3 音が聞こえないときは . . . . . 13
  - 1.Windows 8/7/Vista の場合 . . . . . 14
  - 2.Windows XP の場合 . . . . . 15
  - 3.Mac OS の場合 . . . . . 15
- 4 ドライバーのアンインストール (Windows のみ) . . . . . 16

## 【ステップアップガイド】

### PCM 音源 Windows PC 編

- 1 再生ソフトと転送方式の選択 . . . . . 17
- 2 カーネルミキサーのバイパス . . . . . 18
- 3 ビットレート / サンプルレートの設定 . . . . . 20

### PCM 音源 Mac 編

- 4 再生ソフトとドライバーの選択 . . . . . 22
- 5 ビットレート / サンプルレートの設定 . . . . . 22

## 【DSD フォーマットの再生設定】

## Windows 編

## foobar2000 で再生する

<b>1</b> 再生ソフトとファイル形式について	23
-1. foobar2000 のダウンロード	23
-2. foobar2000 のインストール	25
<b>2</b> コンポーネントの追加	28
-1. foo_out_asio の追加	28
-2. foo_input_sacd の追加	32
<b>3</b> foobar2000 の設定	36

## JRiver Media Center で再生する

<b>4</b> 再生ソフトとファイル形式について	40
<b>5</b> 再生ソフトの購入	40
<b>6</b> 日本語に表記を変更する	41
<b>7</b> JRiver Media Center の再生設定	42
<b>8</b> JRiver Media Center に音楽データを追加する	44

## HQPlayer で再生する

<b>9</b> 再生ソフトとファイル形式について	46
<b>10</b> 再生ソフトの購入	46
<b>11</b> HQPlayer の再生設定	47

## Mac 編

## Audirvana Plus で再生する

<b>12</b> 再生ソフトとファイル形式について	49
<b>13</b> 再生ソフトの購入	49
<b>14</b> Audirvana Plus の再生設定	50

【foobar2000 の WASAPI 出力設定】	52
----------------------------	----



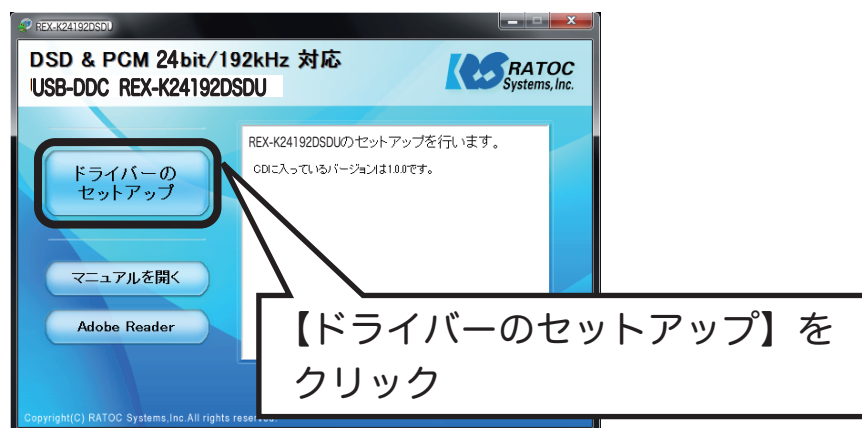
## 1 ドライバーのインストール (Windows のみ)

※例は Windows 7 の画面です。Windows 8/Vista/XP では画面が若干異なります。

1. 本製品の電源を ON にし、起動したパソコンと USB ケーブルで接続します。
2. Administrator (管理者) 権限でログインしてください。
3. 製品添付の CD-ROM をパソコンの CD ドライブに挿入します。
4. メニュー画面が表示されます。

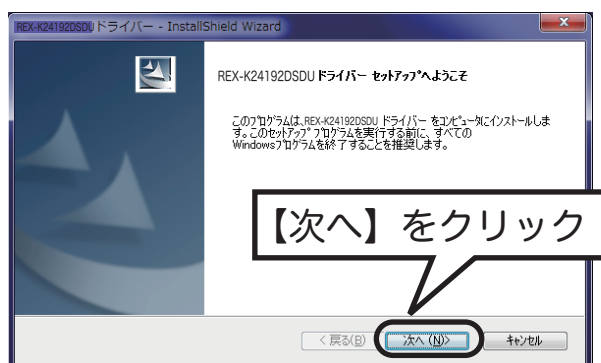
【ドライバーのセットアップ】をクリックしてください。

※自動的に表示されない場合は、【CD ドライブ】を開き、【autorun.exe】をダブルクリックしてください。

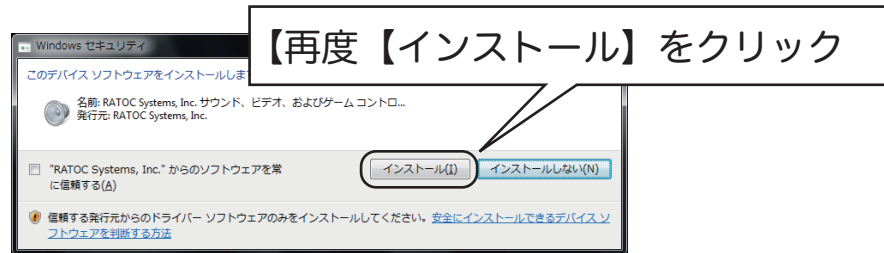
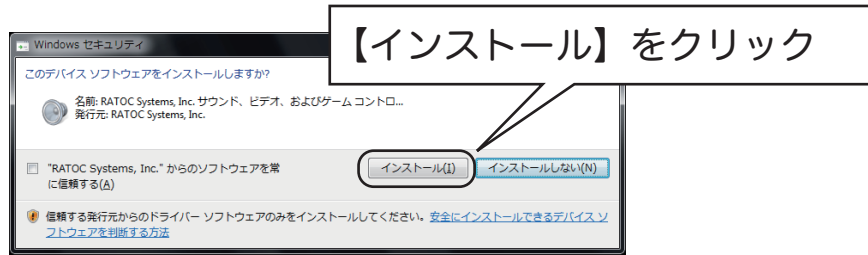


Windows 8/7/Vista の場合、“自動再生”画面が表示されたら、【autorun.exe の実行】をクリックしてください。また、“ユーザーアカウント制御”画面が表示されたら、【はい】または【許可】をクリックしてください。

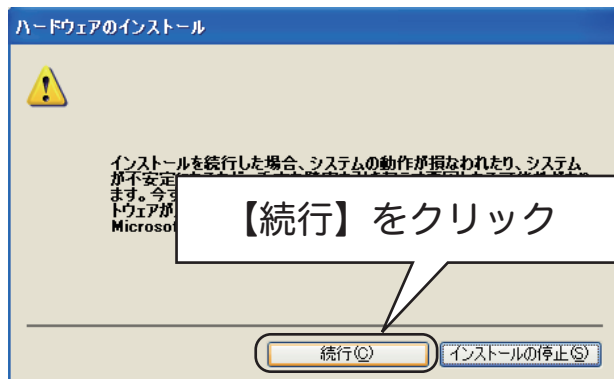
5.



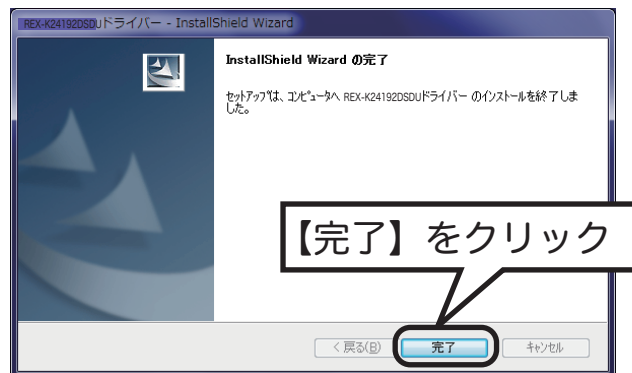
## 6. Windows 8/7/Vista の場合



## Windows XP の場合



## 7.



以上でドライバーのインストールは完了です。

## 2 パソコンから音楽を再生する準備

パソコンで音楽を再生するため、下記の準備をおこなってください。

- 音楽再生ソフトのインストール（通常、Windows PC には Windows Media Player、Mac には iTunes がインストールされています。）
- CD 読み込み（リッピング）ソフトのインストール  
（Windows Media Player、iTunes には、この機能が搭載されています。）
- CD 読み込み（リッピング）ソフトでリッピングした音楽データ、またはインターネットで購入した音楽データなど

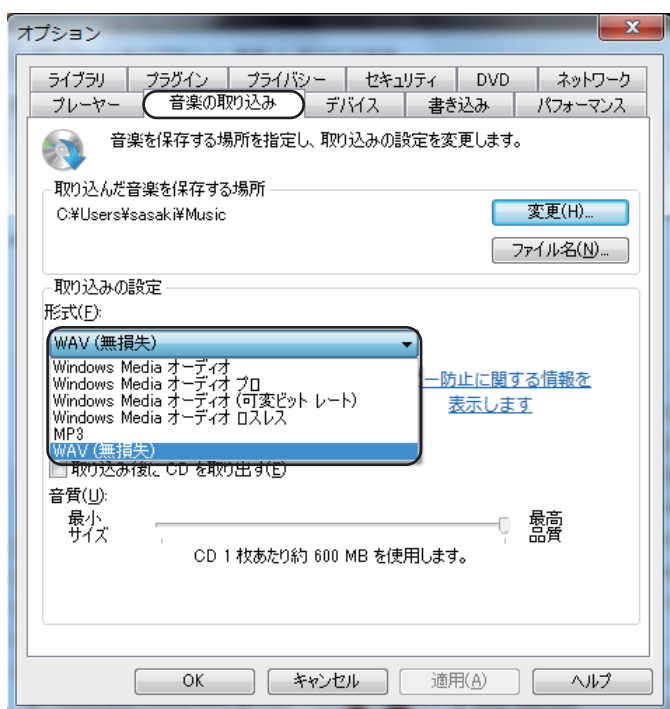
### 👍 パソコンでのリッピングについて ①

音楽 CD 取り込み（リッピング）時は、高音質での保存をおすすめします。ご使用になるソフトにより異なりますが、選択できるファイルが多数存在します。下記の例を参考に CD をパソコンにリッピングしてください。詳しくは、リッピングソフトのマニュアルをご参照ください。


#### ●読み込み設定画面例（Windows の場合）

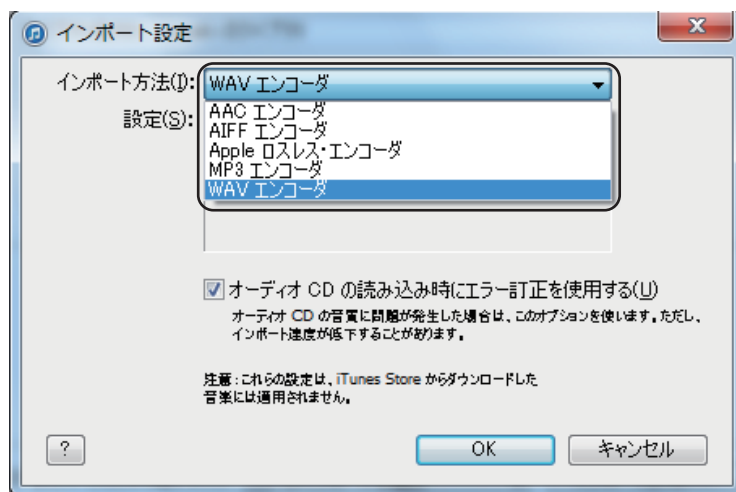
Windows Media Player の場合

【ツール】→【オプション】→【音楽の取り込み】タブの“取り込みの設定”からファイル形式を選択します。



iTunes の場合

iTunes メニューまたは画面左上の  → 【設定】→【一般】タブ内の“インポート設定”をクリックし、インポート方法からファイル形式を選択します。



## 👍 パソコンでのリッピングについて②

下記は音楽 CD を読み込む（リッピング）ときのファイル形式と圧縮方式についての概要です。CD をパソコンにリッピングする際にご参照ください。

ファイル形式	ビットレート	圧縮方式	ファイルサイズ（約）	用途備考
音楽 CD（リニア PCM）	1411.2kbps	—	10MB/分	—
WAV（リニア PCM）	1411.2kbps	非圧縮	10MB/分	音楽 CD のままりッピング
AIFF	1411.2kbps	非圧縮	10MB/分	音楽 CD のままりッピング
Apple ロスレス	700kbps 程度	可逆	5MB/分	音楽 CD と同等の音質
AAC	128kbps	非可逆	1MB/分	音楽 CD に近い音質で圧縮
WMA ロスレス	700kbps 程度	可逆	5MB/分	音楽 CD と同等の音質
WMA	48kbps	非可逆	0.4MB/分	会話の生録音
	192kbps		1.4MB/分	音楽 CD に近い音質で圧縮
WMA プロ	32kbps	非可逆	0.2MB/分	会話の生録音
	40～75kbps		0.3～0.5MB/分	会話の生録音
WMA（可変）	240～355kbps	非可逆	1.7～2.5MB/分	音楽 CD に近い音質で圧縮
	128kbps		0.9MB/分	携帯メモリープレーヤー用
MP3	128kbps	非可逆	0.9MB/分	携帯メモリープレーヤー用
	320kbps		2.2MB/分	音楽 CD に近い音質で圧縮

- 非可逆方式の AAC、WMA/WMA プロ /WMA（可変） /MP3 は、人の聴覚に影響しない成分を削除しファイルサイズを縮小しますが、音は劣化します。なお、ビットレートが小さいほど音質は低くなります。ビットレートが同じであれば「ACC エンコード」の方がやや高音質となります。
- 可逆圧縮方式の Apple ロスレス、WMA ロスレスは、圧縮してファイルサイズを縮小しますが、音の成分は削らず音質は CD と同等です。可逆といわれるのは、いつでも音楽 CD に形式を戻すことができるためです。

## 3 パソコンから音楽を再生する

本製品の電源を ON にし、起動したパソコンと USB ケーブルで接続後に、以下の手順で再生します。

※ DSD 音源を再生する場合は、23 ページ「DSD フォーマットの再生設定」をご参照ください。

1. パソコンが起動していることを確認します。
2. CN7 コネクタに接続したいいずれかのサンプルレート LED が点灯していることを確認します。
3. お好みの音楽再生ソフトを起動し、音楽を再生してください。

※本体ボリュームを大きく設定すると、一部の PCM 音源では音が歪む場合があります。

通常、音楽を再生する場合は、ボリュームを中央付近に合わせてください。

著しく音量が低い場合は、ボリュームを上げてください。

- 以上で接続 / インストールは完了です。7 ページ“トラブル解決編”、17 ページ“ステップアップガイド”、23 ページ“DSD フォーマットの再生設定”をお読みください。

# トラブル解決編

ここでは、パソコンでの本製品の認識状態を確認する項目と、ユーザーズマニュアル 接続 / インストール編でセットアップしても、音が聞こえない場合の対処方法について記載しています。

リニア PCM のハイレゾリューション音源を再生する場合は、17 ページ「ステップアップガイド」をご参照ください。DSD 音源をネイティブ再生する場合は、23 ページ「DSD フォーマットの再生設定」をご参照ください。

## 1 パソコンでの認識状態を確認する

【Windows の場合】

※例は Windows 7 の画面です。Windows 8/Vista/XP では画面が若干異なります。

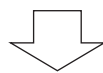
1. デバイスマネージャーを開きます。

### Windows 8 の場合

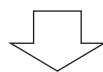
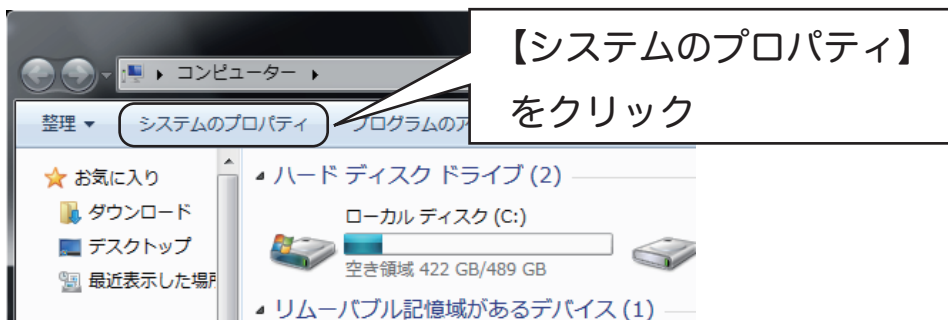
- ① スタート画面の【デスクトップ】をクリックし、デスクトップ画面を開きます。
- ② デスクトップ画面の最左下にカーソルを合わせて右クリックし、【デバイスマネージャー】をクリックします。

### Windows 7/Vista の場合

- ① 【スタート】 → 【コンピューター】 をクリック。



②

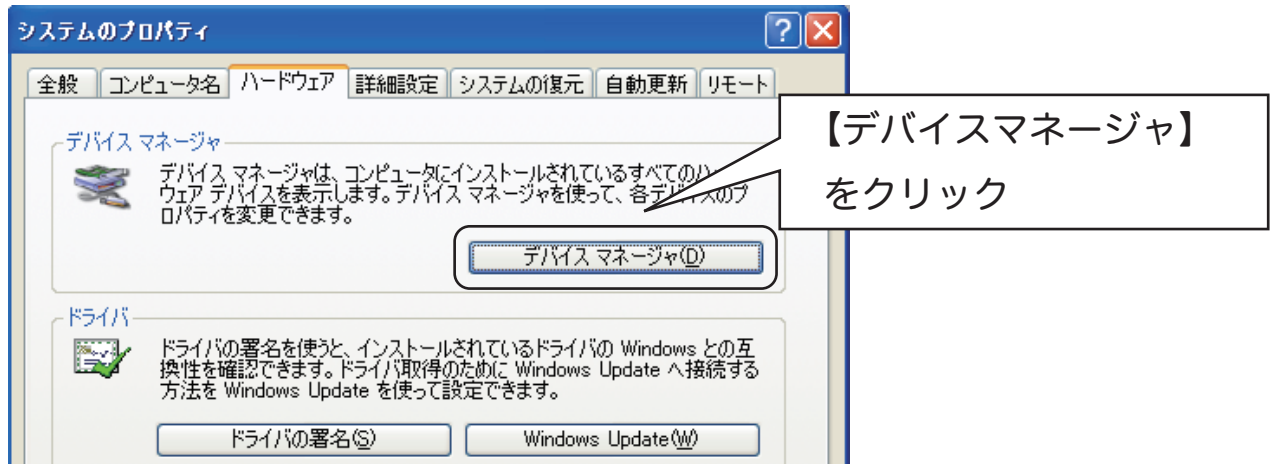


- ③ 画面左上の【デバイスマネージャー】をクリック。

※ 【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら、【はい】または【続行】ボタンをクリック。

## 👍 Windows XP の場合

【スタート】 → 【コントロールパネル】 (→ 【パフォーマンスとメンテナンス】) → 【システム】 をダブルクリック → 【ハードウェア】 タブをクリック → 【デバイスマネージャ】 ボタンをクリック。



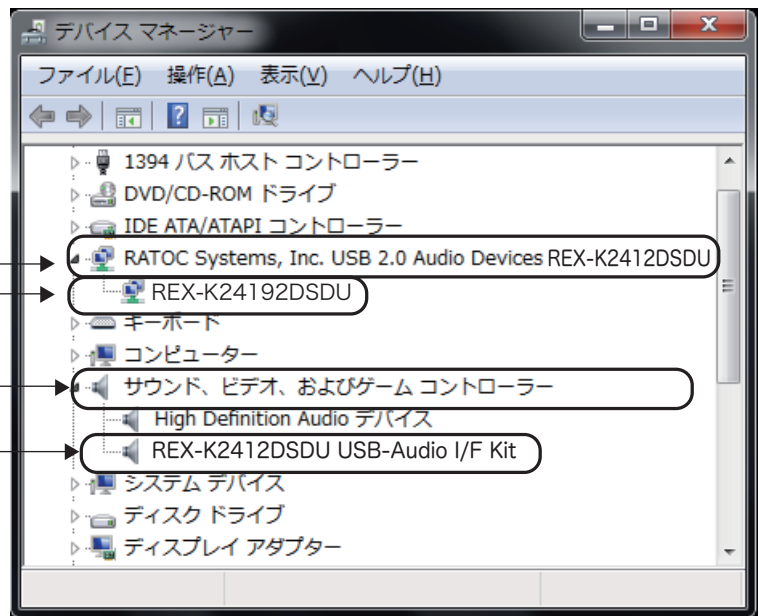
2. 【デバイスマネージャ】の画面から、次の点をご確認ください。

① 【RATOC Systems, Inc. USB2.0 Audio Devices REX-K24192DSDU】をダブルクリックします。

② その下に 【REX-K24192DSDU】 が登録されていることを確認します。

③ 【サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ】をダブルクリックします。

④ その下に 【REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit】 が登録されていることを確認します。



表示されていない場合は、正常に認識されていません。USB ケーブルを一旦抜いてから挿しなおし、再認識させてください。



3. 接続されたオーディオ機器およびヘッドホンから、音が聞こえるか確認します。  
(Windows 8/7/Vista のみ)

【Windows 8 の場合】

- ①スタート画面の【デスクトップ】をクリックし、デスクトップ画面を開きます。
- ②デスクトップ画面の最左下にカーソルを合わせて右クリックし、【コントロールパネル】をクリックします。

【Windows 7/Vista の場合】

- ①【スタート】 → 【コントロールパネル】を開きます。

4. 【ハードウェアとサウンド】 ⇒ 【スピーカー REX-K24192DSU USB-Audio I/F Kit】を右クリックし、【テスト】をクリックします。接続したオーディオ機器およびヘッドホンから音声再生されているかご確認ください。



5. お好みの音楽再生ソフトを起動し、音楽を再生してください。

音楽が聞こえない時は、13 ページ “ 3 音が聞こえないときは ” をご参照ください。



CN5 にコネクタ接続された LEVEL 設定が大きくなっていないか、音楽を再生する前にご確認ください。

以上でパソコンでの認識状態の確認は完了です。リニア PCM のハイレゾ音源 (24bit/192kHz) や DSD 音源を再生する場合は、17 ページ “ ステップアップガイド ” または 23 ページ “ DSD フォーマットの再生設定 ” をお読みください。

## 2 OS エラー音を転送したくないときは

通常の設定では、すべての音が伝送されます。お使いの OS や再生ソフトによって設定方法は異なりますが、エラー音をパソコン内蔵スピーカーで再生させ、音楽だけを転送させる方法の概略を説明します。

【Windows Media Player 12 の場合】

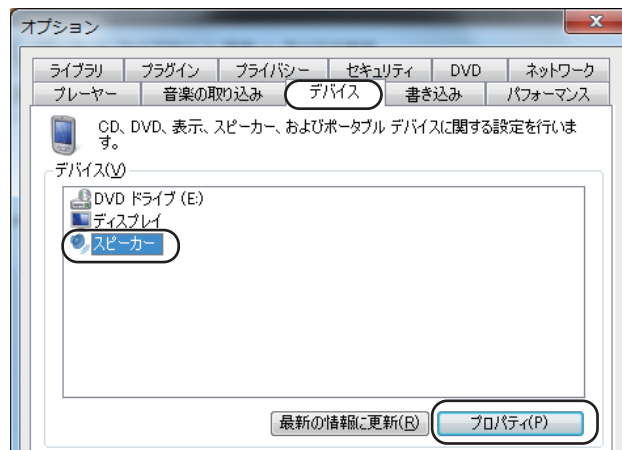
1. 【スタート】→【コントロールパネル】→【ハードウェアとサウンド】→【サウンド】をクリックし、【再生】タブで再生デバイスをパソコン内蔵スピーカーに変更します。



2. Windows Media Player の【整理】→【オプション】をクリックします。

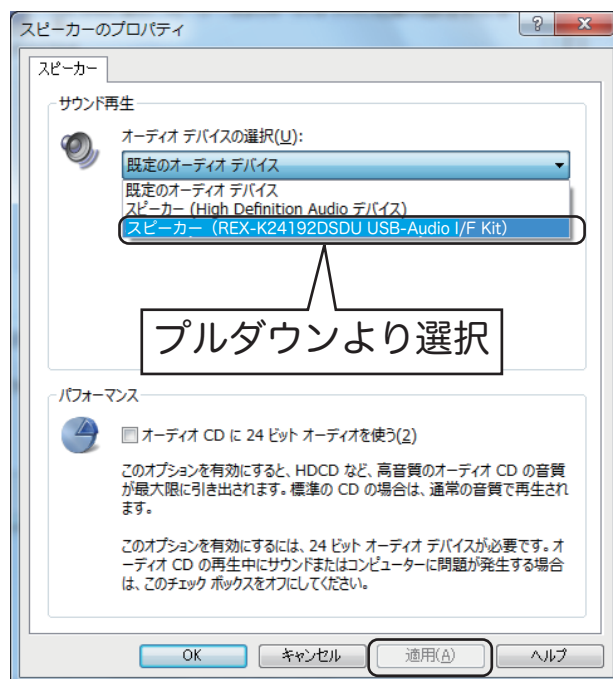


3. 【デバイス】タブ内の“スピーカー”を選択し、【プロパティ】を開きます。





4. “オーディオデバイスの選択”を“スピーカー（REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit）”に変更し、【適用】をクリックします。



※ iTunes など個別の出力設定がないアプリケーションの場合は、パソコンのエラー音なども再生されます。



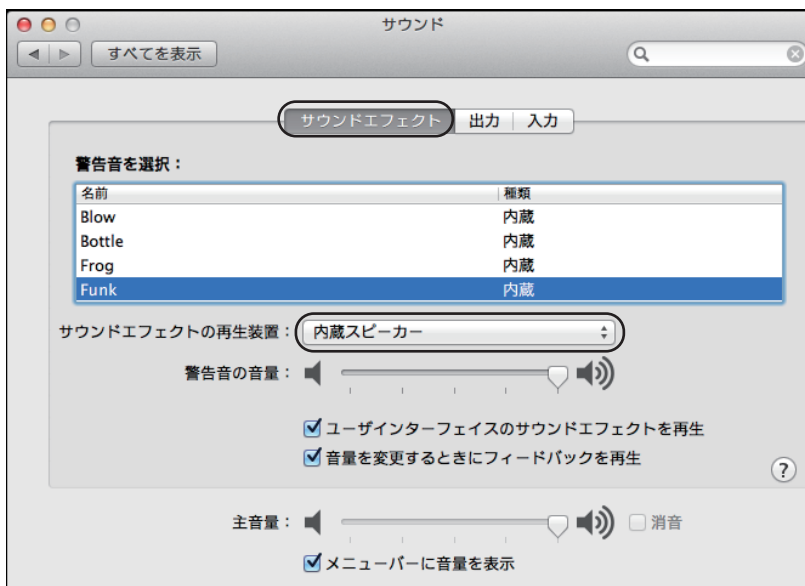
出力設定のないアプリケーションでエラー音などを再生させたくない場合

【スタート】→【コントロールパネル】→【サウンドとオーディオデバイス】→【再生】タブで“スピーカー REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit”を“既定のデバイス”に変更後、【サウンド】タブの【サウンド設定】を「サウンドなし」に変更してください。

（ただし OS 起動音、メール受信音などすべてのサウンドが OFF となります。）

## 【Mac OS の場合】

1. アップルメニューから【システム環境設定】 → 【サウンド】 をクリックします。
2. 【サウンドエフェクト】 を指定し、【サウンドエフェクトの再生装置】のタブから“内蔵スピーカー” を選択します。



3. 【出力】 を指定し、“サウンドを出力する装置の選択”を“REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit” に設定します。



### 3 音が聞こえないときは

マニュアルの手順通りに接続しても音が聞こえないときは、次の点を順にご確認ください。

CN5 コネクタに接続された LEVEL 設定が適切な音量になっていますか？

LEVEL 設定は適切である。

ご使用のオーディオ機器の入力設定が正しく設定(アナログ入力の設定)され、ボリュームが適切な音量になっていますか？

設定 / ボリュームは適切である。

パソコン上での認識と設定をご確認ください。

設定に問題はない。

USB ケーブルを再接続してください。USB オーディオデバイスと認識された後に再生ソフトで音楽を再生していますか？

正しく認識された後に再生している。

再生ソフトを再起動し、出力先をご確認ください。

出力設定に問題はない。

本製品を取り外し、ご使用のパソコンの内蔵スピーカーやヘッドホン出力から音楽が聞こえることをご確認ください。

Windows 8/7/Vista の場合

⇒ 14 ページ **3**-1.

Windows XP の場合

⇒ 15 ページ **3**-2.

Mac OS の場合

⇒ 15 ページ **3**-3.

⇒再生しているときは・・・

別紙 REX-K24192DSDU User's Guide  
を参照し、再度配線等をご確認ください。

#### 1. コントロールパネルを開きます。

##### 【Windows 8 の場合】

- ①スタート画面の【デスクトップ】 をクリックし、デスクトップ画面を開きます。
- ②デスクトップ画面の最左下にカーソルを合わせて右クリックし、【コントロールパネル】 をクリックします。



##### 【Windows 7/Vista の場合】

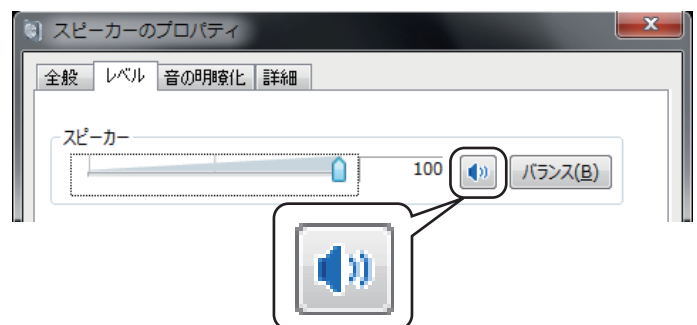
- ①【スタート】 → 【コントロールパネル】 を開きます。

2. 【ハードウェアとサウンド】 → 【サウンド】 をクリックし、【再生】 タブにて“スピーカー REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit” が既定のデバイスに設定されているかご確認ください。



他のデバイスが表示されている場合は、“スピーカー REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit” を右クリックし【既定のデバイスに選択】 をクリックして設定を変更してください。

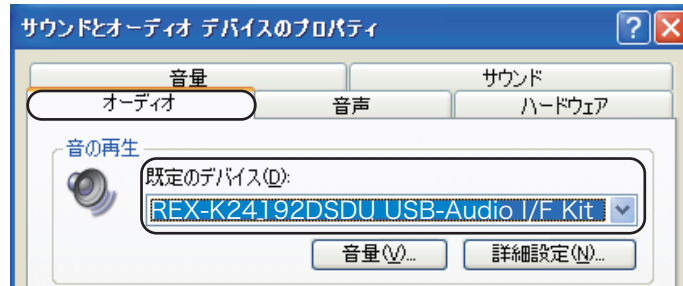
3. 【再生】 タブの“スピーカー REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit” をダブルクリックし、【スピーカーのプロパティ】 を開きます。【レベル】 タブのミュート  マークが表示されていると、音が聞こえません。マークをクリックして  マークにしてください。



WASAPI などカーネルミキサーをバイパスして再生している場合、OS での音量調節は反映されません。詳しくは 18 ページのステップアップガイド“ **2** カーネルミキサーのバイパスをご参照ください。

### 3 -2. Windows XP の場合

1. 【スタート】 → 【コントロールパネル】 (→ 【サウンド、音声、およびオーディオデバイス】) → 【サウンドとオーディオデバイス】 をダブルクリックし【サウンドとオーディオデバイスのプロパティ】を開いてください。
2. 【オーディオ】タブの“音の再生”にて“REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit”が表示されていることをご確認ください。※ Windows XP では OS で音量を調節することができません。



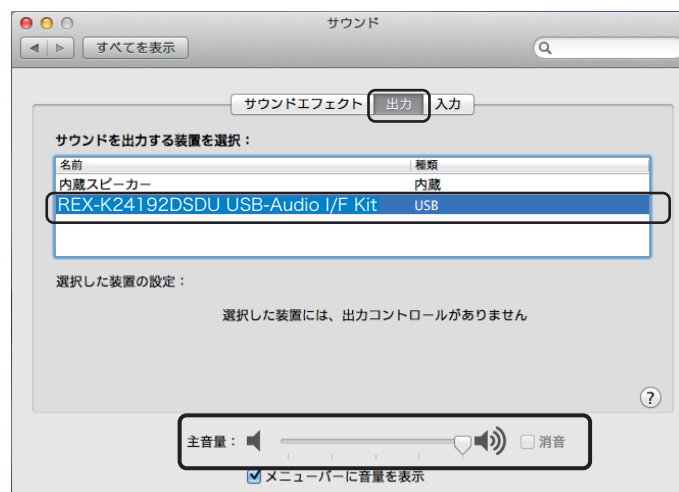
他のデバイスが表示されている場合は、“REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit” を選択して【適用】をクリックし、設定を変更してください。

### 3 -3. Mac OS の場合

1. アップルメニューから【システム環境設定】 → 【サウンド】 をクリックしてください。



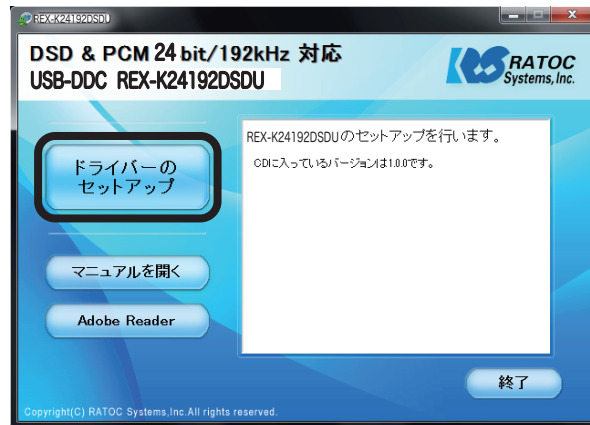
2. 【主音量】のスライダーが適切な位置にあるかご確認ください。また、【消音】にチェックがないかご確認ください。



## 4 ドライバーのアンインストール (Windows のみ)

ドライバーソフトウェアのインストールが正常におこなわれなかった場合や、本製品を削除したい場合は、以下の作業をおこないます。

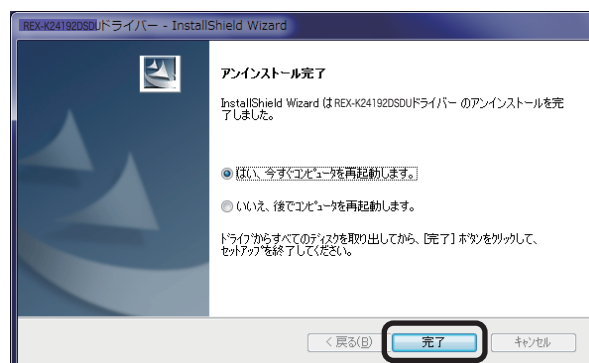
1. 製品添付の CD-ROM をパソコンのドライブに挿入します。
2. 【ドライバーのセットアップ】 をクリックします。



3. 【はい】 をクリックします。



4. 【完了】 をクリックし、パソコンを再起動してください。



# ステップアップガイド

ここでは、パソコンに保存された音楽ファイルをより高音質で再生するための設定を説明します。  
3 ページ「接続 / インストール編」にてセットアップ後にご覧ください。DSD 音源をネイティブ再生  
する場合は、23 ページ「DSD フォーマットの再生設定」をご参照ください。

## PCM 音源 Windows PC 編

### 1 再生ソフトと転送方式の選択

#### 【Windows の場合】

REX-K24192DSDU は Windows 8/ 7 /Vista/XP に対応していますが、再生ソフトと転送方式の組み合わせにより再生できない場合があります。下記の表は、音楽再生ソフト： iTunes/Windows Media Player/foobar2000、転送方式： Direct Sound/WASAPI/RAL Audio ASIO Driver を例として OS 別の一覧表記しています。お客様のパソコン環境と照らし合わせて再生ソフト / 転送方式を選んでください。

● Windows 8/ 7	転送方式		
再生ソフト	Direct Sound	WASAPI	RAL ASIO
iTunes	○	○※ 3	×
Windows Media Player	—※ 2	—	×
foobar2000 ※ 1	○	○※ 4	○

● Windows Vista	転送方式		
再生ソフト	Direct Sound	WASAPI	RAL ASIO
iTunes	○	○※ 3	×
Windows Media Player	—※ 2	—	×
foobar2000 ※ 1	○	○	○

● Windows XP	転送方式		
再生ソフト	Direct Sound	WASAPI	RAL ASIO
iTunes	○	×	×
Windows Media Player	—※ 2	×	×
foobar2000 ※ 1	○	×	○



- ※ 1 英語表記のため、日本語表記にするには日本語化ツールをダウンロードする必要があります。
- ※ 2 Windows Media Player は、出力を変更することができません。
- ※ 3 iTunes は Windows 8/7/Vista の環境で WASAPI 排他モードに対応していません。  
共有モードのみ使用できますが、音質の向上は見込まれません。
- ※ 4 “ **2** カーネルミキサーのバイパス ” にて詳しく設定方法の説明があります。

#### ◆ Direct Sound

Windows 標準のオーディオ転送方式。カーネルミキサーを経由して出力されます。

通常 USB オーディオアダプターなどを接続した際に動作します。Direct Sound 使用時の設定は “ **3** ビットレート / サンプルレートの設定 ” をご参照ください。

#### ◆ WASAPI

Windows Vista SP1 より搭載された機能。カーネルミキサーをバイパスできます。

WASAPI 使用時の設定は “ **2** カーネルミキサーのバイパス ” をご参照ください。

#### ◆ RAL ASIO (RALk24192dsdu ASIO Driver)

REX-K24192DSDU 専用の ASIO 対応ドライバー。遅延が少なく、カーネルミキサーをバイパスできます。

※ソフトウェア CD-ROM をインストールをすると、同時にインストールされます。

※ RAL Audio ASIO Driver を使用して再生する場合は、28 ページ “DSD フォーマットの再生設定 foobar2000 で再生する ” の “ **2**-1.foo\_out\_asio の追加 ” をご参照ください。

## 2 カーネルミキサーのバイパス

通常の設定では、Windows パソコンで再生されたデータはカーネルミキサーを経由して USB オーディオより転送されますが、カーネルミキサーを回避することにより音質向上が見込まれます。ここではカーネルミキサーをバイパスし、信号経路を短縮して再生する設定方法を説明します。

※ RAL Audio ASIO Driver を使用して再生する場合は、28 ページ “DSD フォーマットの再生設定 foobar2000 で再生する ” の “ **2**-1.foo\_out\_asio の追加 ” をご参照ください。

【Windows 7 で設定をおこなう 例：foobar2000 使用の場合】

あらかじめ、下記のアプリケーションをご準備（ダウンロード）ください。

→ 23 ページ “ **1**-1.foobar2000 のダウンロード ” をご参照ください。

WASAPI 出力コンポーネントのダウンロードとインストールの詳細は、52 ページ “foobar2000 の WASAPI 出力設定 ” をご参照ください。（Windows 8/7/Vista）

#### ◆音楽再生ソフト

foobar2000

【<http://www.foobar2000.org/download>】

#### ◆ foobar2000 用 WASAPI 再生コンポーネント

foo\_out\_wasapi.fb2k-component

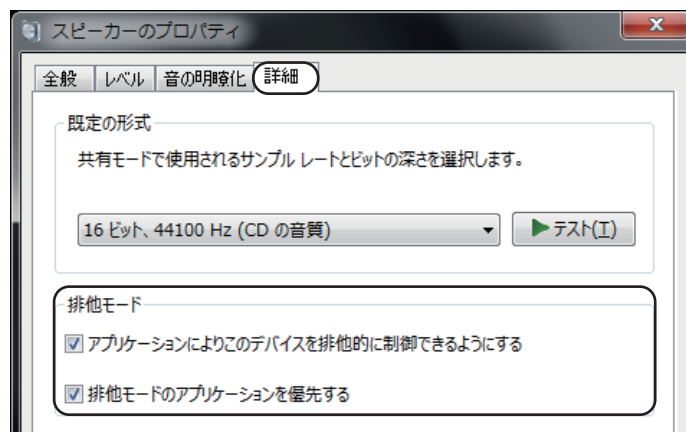
【<http://www.foobar2000.org/components>】



1. 【スタート】→【コントロールパネル】→【ハードウェアとサウンド】→【サウンド】をクリックし、【再生】タブで再生デバイスをパソコン内蔵スピーカーに変更します。



2. “REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit” をダブルクリックし、【詳細】タブ内“排他モード”の2項目にチェックが入っていることを確認します。



3. foobar2000 を起動します。【File】→【Preferences】→【out put】の“Device”から“WASAPI: (event) スピーカー (REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit)”を選択し、【Apply】→【OK】をクリックしてください。



### 3 ビットレート / サンプルレートの設定

サンプルレート / ビットレートの変更設定をおこないます。格納された音楽ファイルの再生ビットレート / サンプルレートをシステムによる変換から回避し、音楽ファイルとの同一性を保ちます。ハイレゾ音源などを出力する場合は、以下の設定をおこなってください。

※ Windows XP では設定変更が出来ません。(カーネルミキサーでの自動選択となります。)

※ ASIO ドライバー / WASAPI 排他モード再生などカーネルミキサーをバイパス設定している場合、ここでの設定は反映されません。

(iTunes と WASAPI との組み合わせで使用している場合は共有モードのため、設定が必要です。)

【例：Windows 7 で設定をおこなう】

1. 【スタート】 → 【コントロールパネル】 を開いてください。“表示方法”より【大きいアイコン】を選択します。



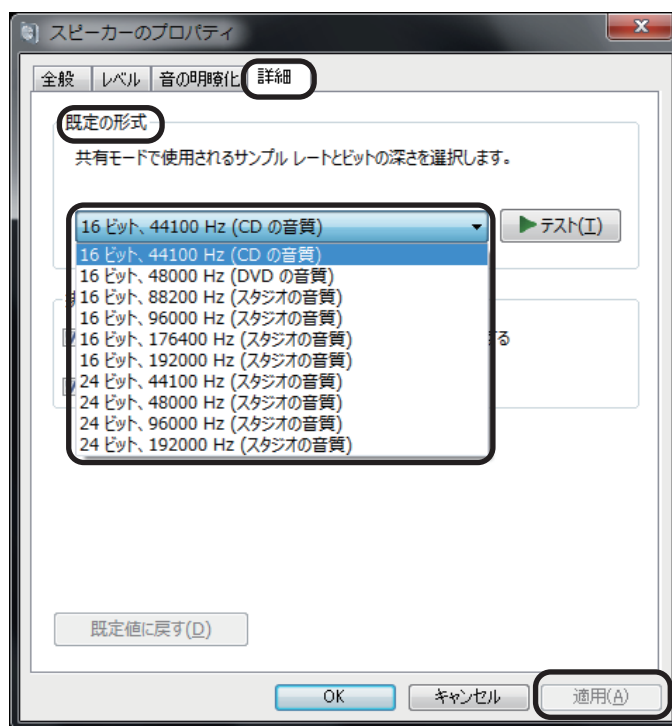
2. 【サウンド】 をダブルクリックします。



3. 【再生】タブの“スピーカー REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit”をダブルクリックして【スピーカーのプロパティ】を開きます。



4. 【詳細】タブの“既定の形式”から、再生するファイルと同様のサンプルレートを選び、【適用】をクリックします。



※音楽再生ソフトの出力設定が DirectSound の場合、Windows 8/7/Vista では OS 上の仕様により 24bit/88200Hz、24bit/176400Hz が表示されません。音楽ファイルと異なるサンプルレート / ビットレートを選択した場合、音楽は再生されますが、同一性を失うことがあります。

※カーネルミキサーを経由して出力されるサンプルレート / ビットレートは、本画面で設定した値に固定されます。

## 4 再生ソフトとドライバーの選択

Mac では OS の特性上、カーネルミキサーを経由せずに USB オーディオへ転送されます。ドライバーは共通となりますが、さまざまな再生ソフトが使用できます。

再生ソフト	ドライバー	備考
iTunes	Core Audio	Mac 標準のオーディオ再生ソフト
Play	Core Audio	<a href="http://sbooth.org/Play/">http://sbooth.org/Play/</a>
Cog	Core Audio	<a href="http://www.bridge1.com/cog.html">http://www.bridge1.com/cog.html</a>

※詳しくは各再生ソフトのマニュアル等をご参照ください。

## 5 ビットレート / サンプルレートの設定

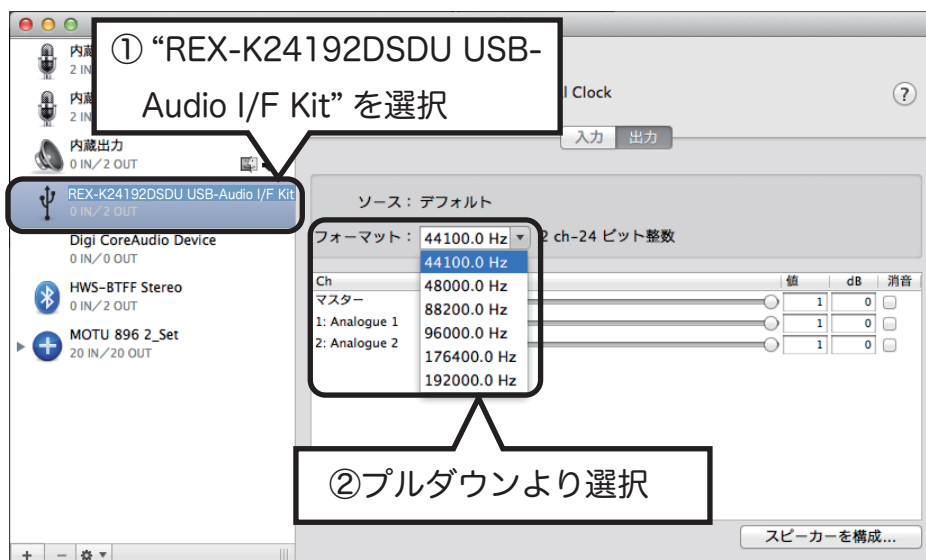
Mac と REX-K24192DSDU を接続すると、Mac からの出力は 24bit/192kHz 出力になります。ここでは【Audio MIDI 設定】により格納された音楽ファイルのビットレート / サンプルレートに合わせることで、音楽ファイルとの同一性を保つ設定をおこないます。

【Audio MIDI 設定をおこなう】

- 1 Finder のメニューから【移動】 → 【ユーティリティ】を開きます。
- 2 【Audio MIDI 設定】を開きます。



- 3 一覧より“REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit”を選択し、フォーマットのタブから音楽ファイルのビットレート / サンプルレートに合わせて設定します。



以上で設定は終了です。

# DSD フォーマットの再生設定

## Windows PC 編

REX-K24192DSDU で DSD 音源をネイティブ (PCM 変換せずに) 再生する場合、再生ソフトウェアによって別途コンポーネント (プラグイン) が必要になる場合があります。ここでは弊社推奨の環境であるフリーソフト foobar2000 (別途コンポーネント必要) と、有料ソフト HQPlayer/JRiver Media Center (別途コンポーネント不要) の設定について説明します。

## foobar2000 で再生する

### 1 再生ソフトウェアとファイル形式について

フリーソフト foobar2000 を使用する DSD ダイレクト (DoP Standard 1.0 準拠) 再生について順を追って説明します。

※下記の設定は REX-K24192DSDU のドライバーインストール後におこなってください。

#### 【必要なソフトとコンポーネント】

- ・ foobar2000 (音楽再生ソフト / Ver.1.1.14 以降)
- ・ foo\_out\_asio (foobar2000 用 ASIO 出力コンポーネント)
- ・ foo\_input\_sacd (DSD 音源再生用コンポーネント)

#### 【再生可能な DSD 音源のフォーマット】

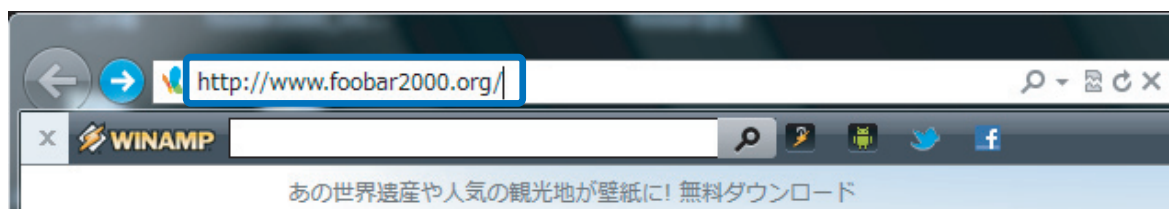
- ・ DSF 形式ファイル
- ・ DSDIFF 形式ファイル

### 1 -1. foobar2000 のダウンロード

※画像はインターネットブラウザに Internet Explorer を使用した場合です。他のブラウザを使用の場合、表記が一部異なります。既に foobar2000 をご利用の場合は、28 ページ “ **2** コンポーネントの追加 ” に進んでください。

1. インターネットブラウザを開き、下記の URL にアクセスします。

<http://www.foobar2000.org/>

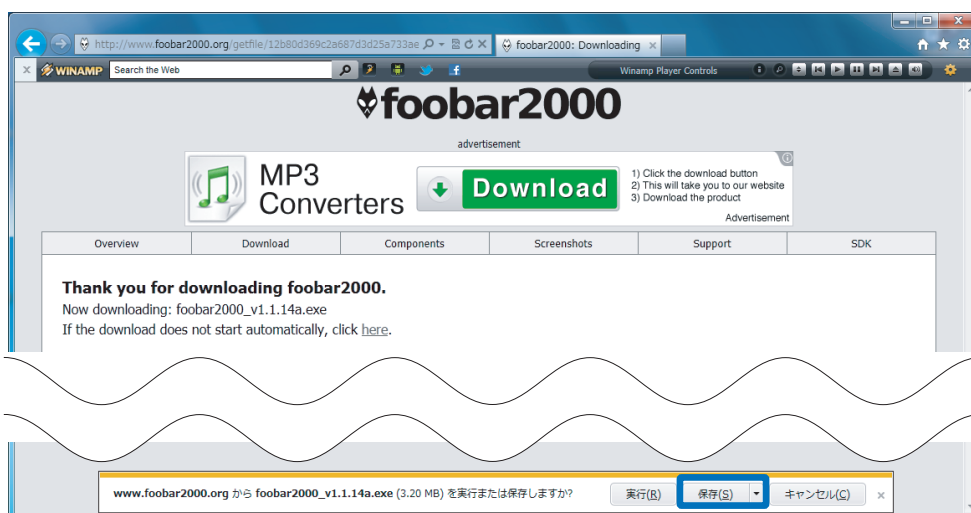


2. “Download” タグの “Latest stable version Download foobar2000 v1.1.14a” をクリックします。 ※バージョンアップにより、下線部の表記は更新されます。

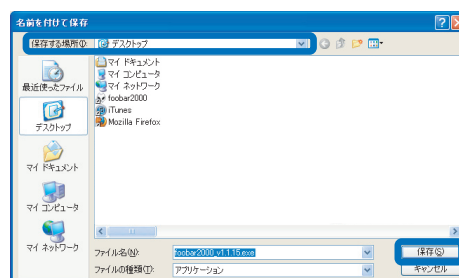
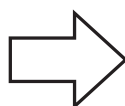
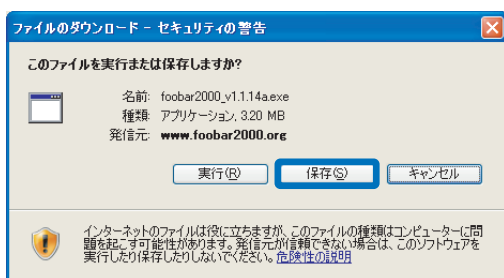


3. 【保存】 をクリックします。

Windows 8/7/Vista の場合



Windows XP の場合



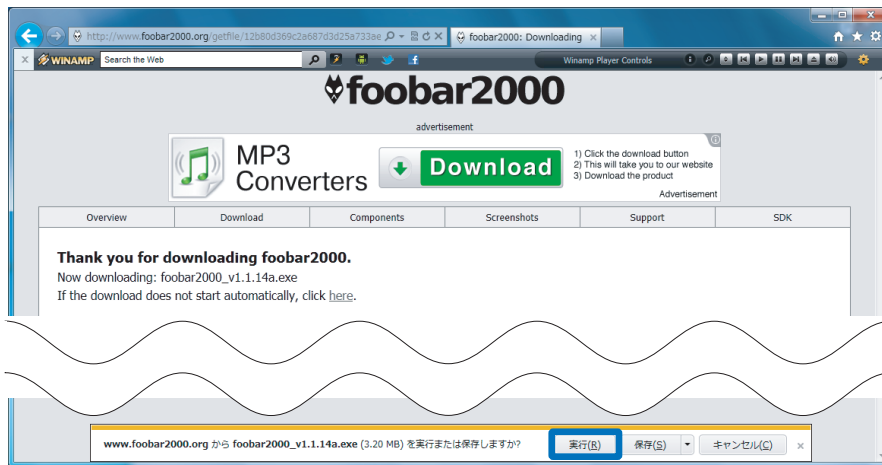
保存する場所をデスクトップに指定し、【保存】 をクリックします。



## 1 -2. foobar2000 のインストール

### 1. インストーラーを起動します。

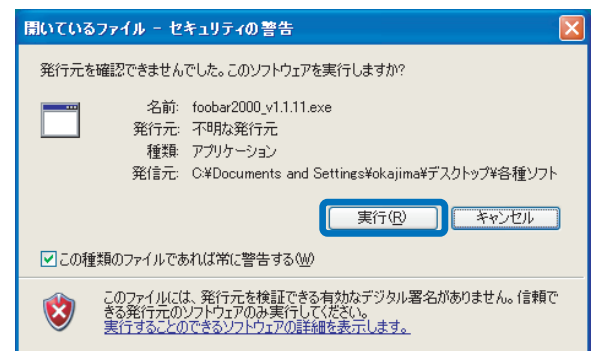
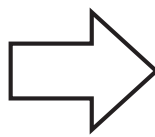
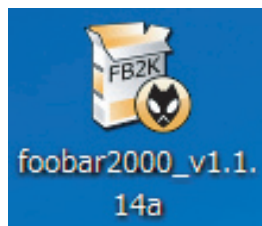
#### Windows 8/7/Vista の場合



【実行】をクリックします。

※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら、【はい】または【続行】ボタンをクリックします。

#### Windows XP の場合



【実行】をクリックします。

※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら、【はい】または【続行】ボタンをクリックします。

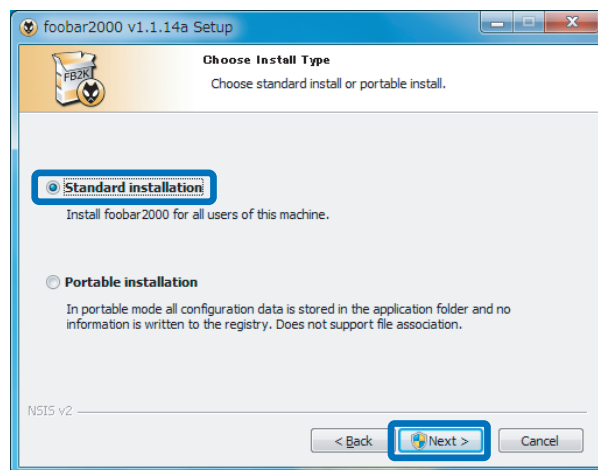
### 2. インストーラーが起動したら、【Next】をクリックします。



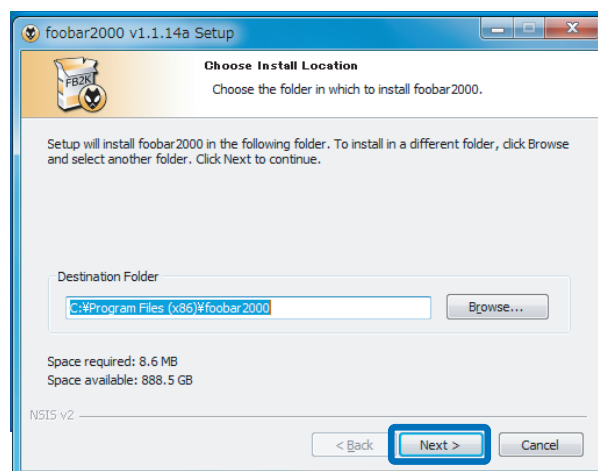
3. ライセンスが表示されます。問題がなければ【I Agree】をクリックします。



4. インストール設定が表示されます。“Standard installation”が選択されていることを確認し、【Next】をクリックします。

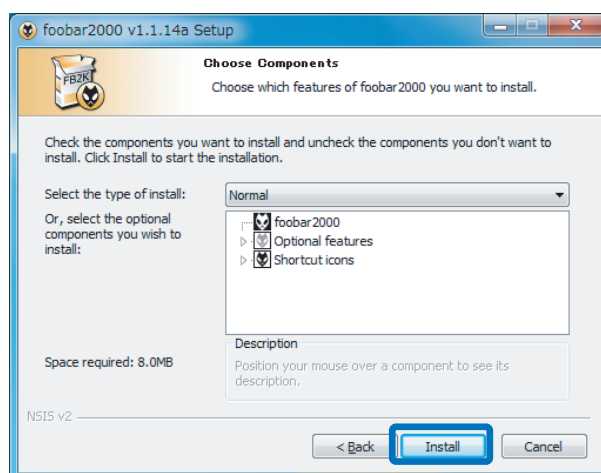


5. ファイルの保存先を設定します。【Next】をクリックします。

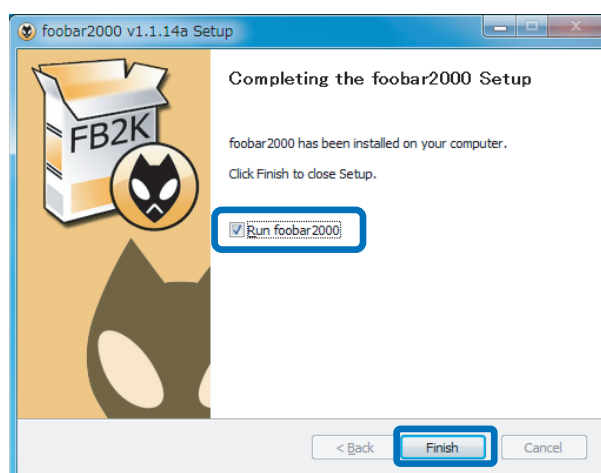




6. コンポーネントの選択画面で【Install】をクリックします。



7. インストールが完成しました。“Run foobar2000”からチェックを外し、【Finish】をクリックします。

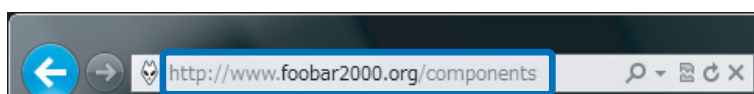


## 2 コンポーネントの追加

foobar2000 での DSD ネイティブ再生 (DoP Standard 1.0 準拠) は、各コンポーネントの追加することにより実現します。下記の手順に従い各コンポーネントをダウンロードし、設定をおこなってください。

### 2 -1. foo\_out\_asio の追加

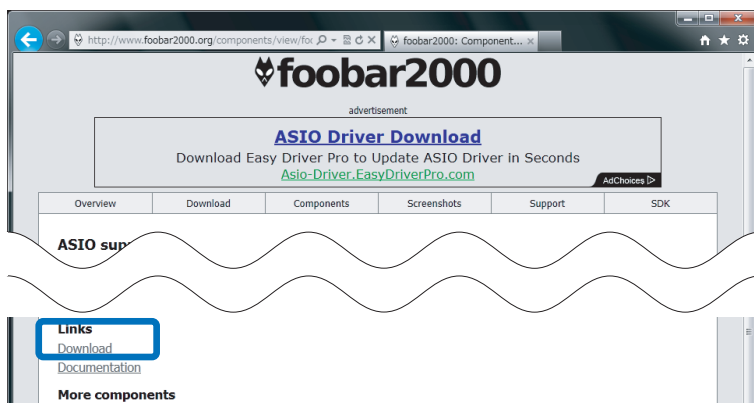
1. インターネットブラウザを開き、下記の URL にアクセスします。  
<http://www.foobar2000.org/components>



2. “ASIO Support 2.1.2” をクリックします。  
※バージョンアップにより、下線部の表記は更新されます。



3. Links 内の “Download” をクリックします。

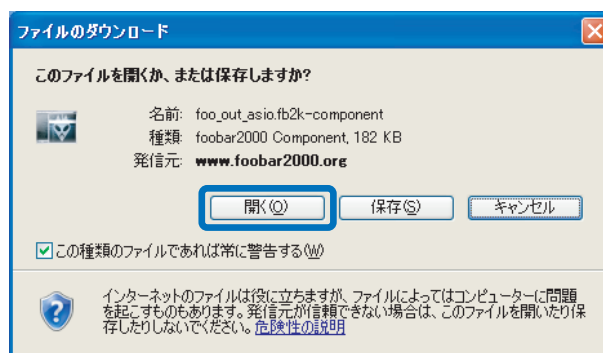


4. 【ファイルを開く】をクリックします。

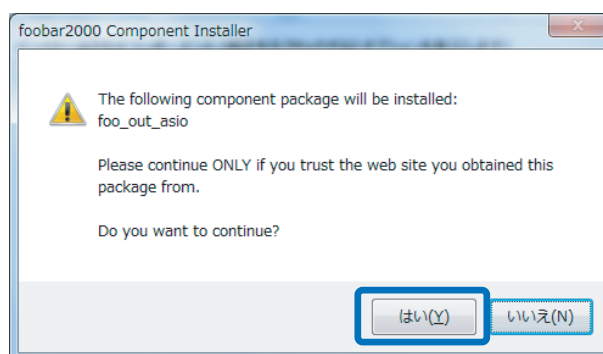
### Windows 8/7/Vista の場合



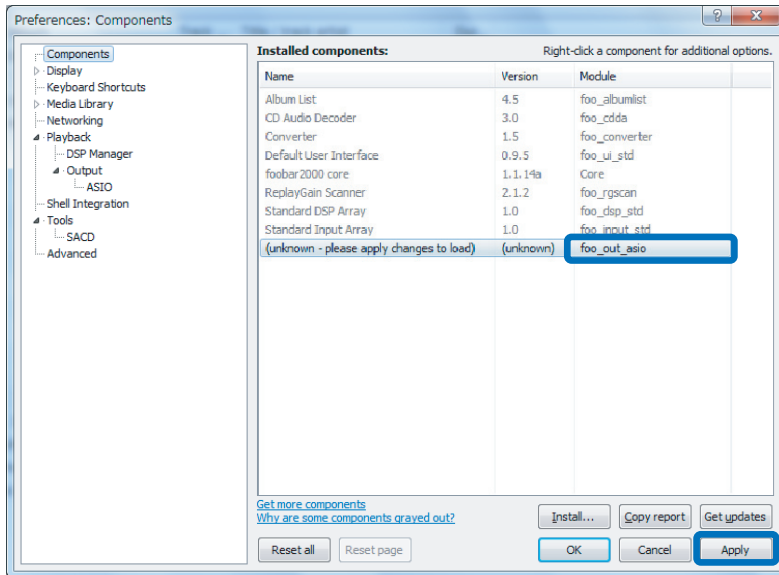
### Windows XP の場合



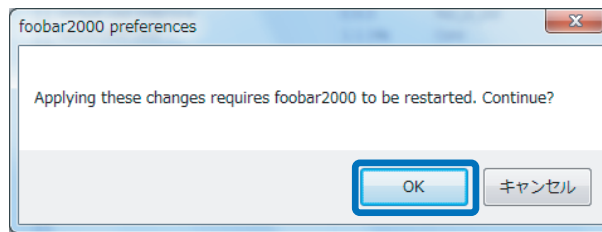
5. foobar2000 が起動し、下記の画面が表示されます。【はい】をクリックします。



6. 登録されたコンポーネント内に“foo\_out\_asio”が表示されます。  
“foo\_out\_asio”を選択し、【Apply】（日本語表記では適用）をクリックします。



7. 下記の画面が表示されます。【OK】をクリックします。

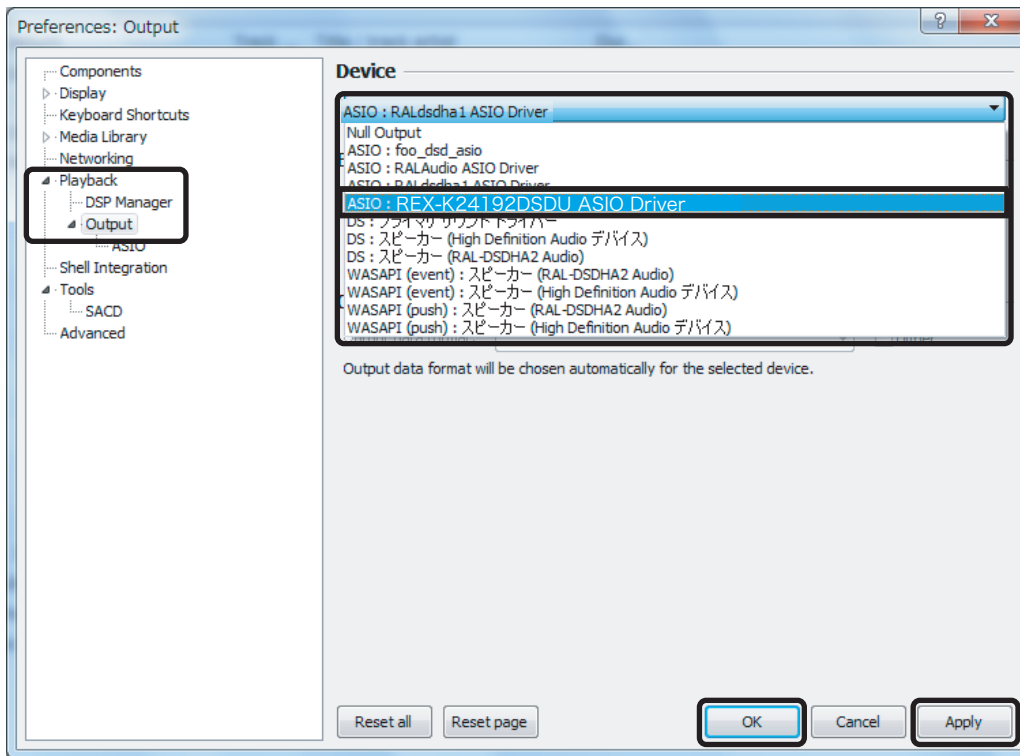


以上で foobar2000 に foo\_out\_asio がインストールされました。



## リニア PCM 音源を RAL Audio ASIO Driver で再生する場合

【file】 ⇒ 【Components】 ⇒ 【Playback】 ⇒ 【Output】 の Device 内 “ASIO:REX-K2412DSDU ASIO Driver” を選択し、【Apply】 ⇒ 【OK】 をクリックします。



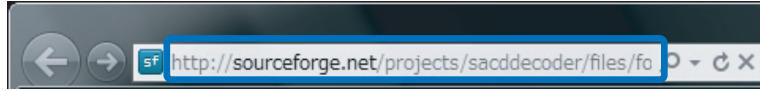
※ Device 内に ASIO:REX-K24192DSDU ASIO Driver が表示されていない場合は、ASIO 設定画面の “Use 64bit ASIOdrivers” にチェックを入れ、【Apply】 ⇒ 【OK】 をクリックします。  
38 ページの手順 6. をご参照ください。

## 2 -2. foo\_input\_sacd の追加

次に foo\_input\_sacd のダウンロードとインストールをおこないます。下記の手順に従いファイルをダウンロードし、設定をおこなってください。

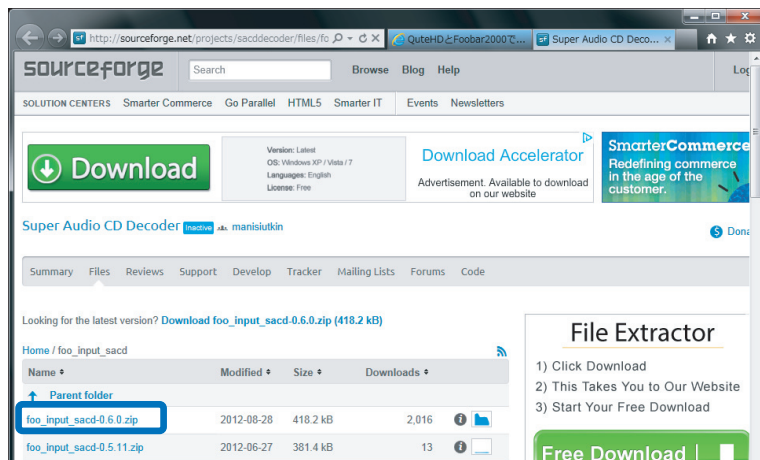
1. インターネットブラウザを開き、下記の URL にアクセスします。

[http://sourceforge.net/projects/sacddecoder/files/foo\\_input\\_sacd/](http://sourceforge.net/projects/sacddecoder/files/foo_input_sacd/)



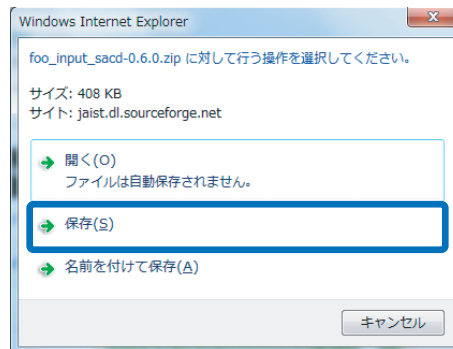
2. “foo\_input\_sacd-0.6.0.zip” をクリックします。

※バージョンアップにより、下線部の表記は更新されます。

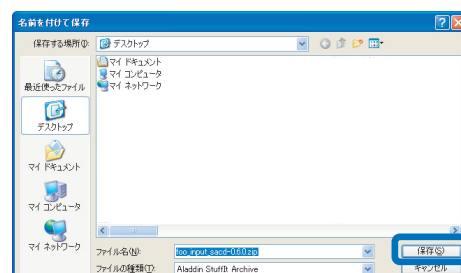
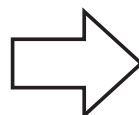
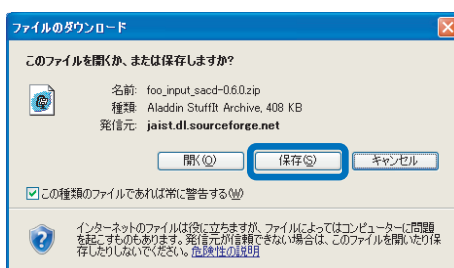


3. 【保存】 をクリックします。

### Windows 8/7/Vista の場合

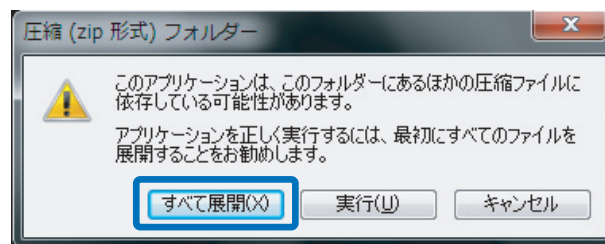
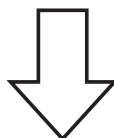
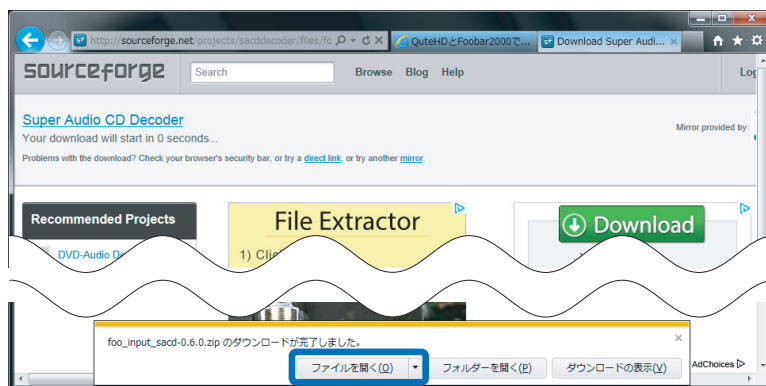


### Windows XP の場合

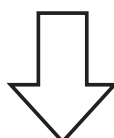


#### 4. ファイルを展開します。

Windows 8/7/Vista の場合

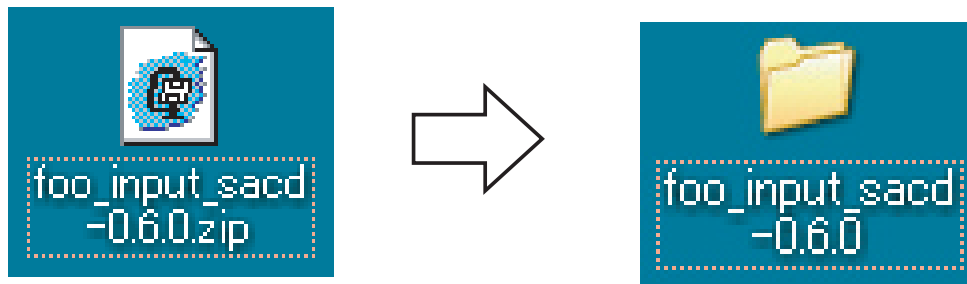


【すべて展開】をクリックします。



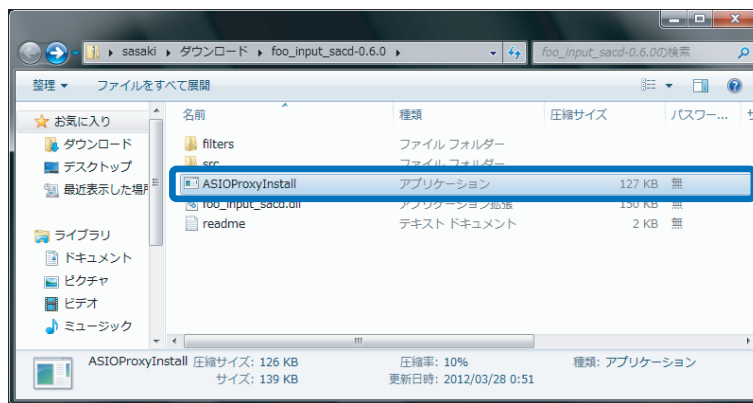
“完了時に展開されたファイルを表示する”にチェックが入っていることを確認し、【展開】をクリックします。

## Windows XP の場合

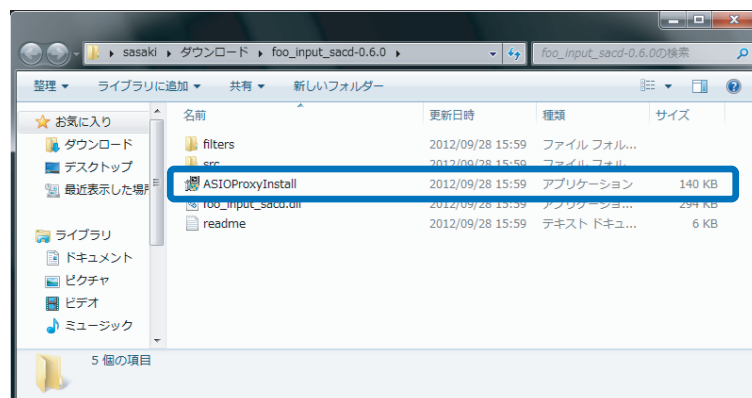


デスクトップ上の“foo\_input\_sacd-0.6.0.zip”をダブルクリックし、表示された“foo\_input\_sacd-0.6.0”をダブルクリックします。

5. “ASIOProxyInstall”をダブルクリックします。



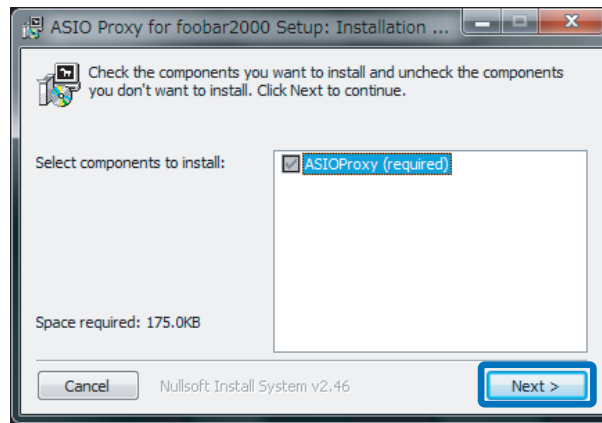
6. “ASIOProxyInstall”をダブルクリックします。



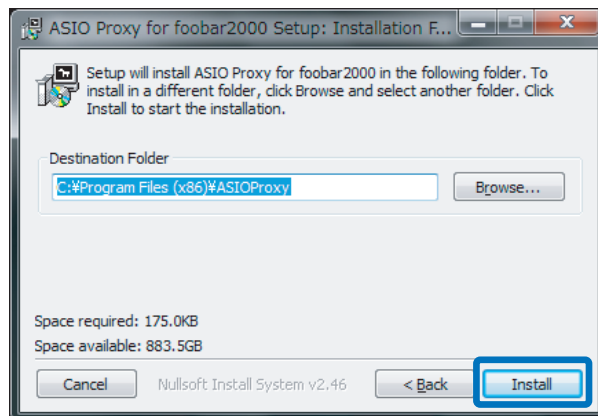
※【ユーザーアカウント制御】画面が表示されたら、【はい】または【続行】ボタンをクリックします。



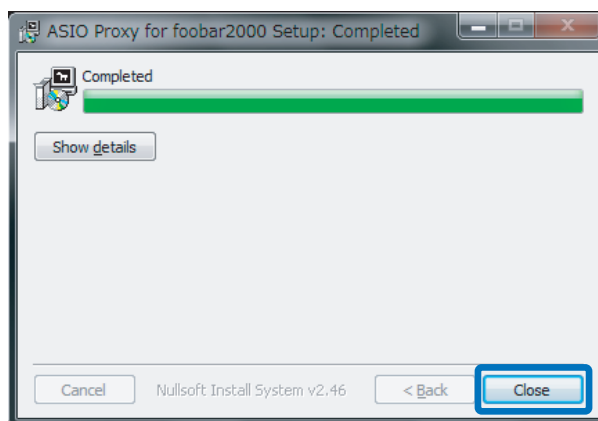
7. インストーラーが起動します。【Next】をクリックします。



8. ファイルの保存先を設定します。【Install】をクリックします。



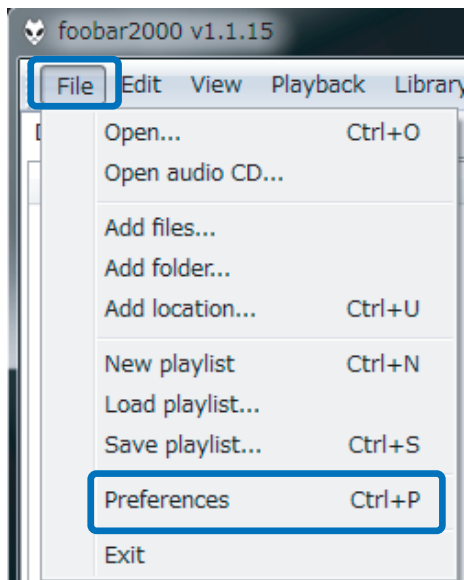
9. インストールが完成しました。【Close】をクリックします。



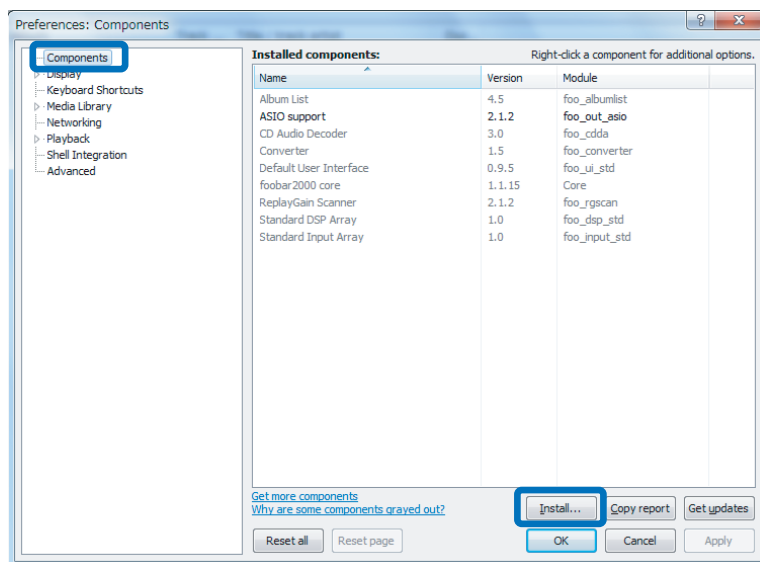
# 3 foobar2000 の設定

次に foobar2000 の設定をおこないます。下記の手順に従い、設定をおこなってください。

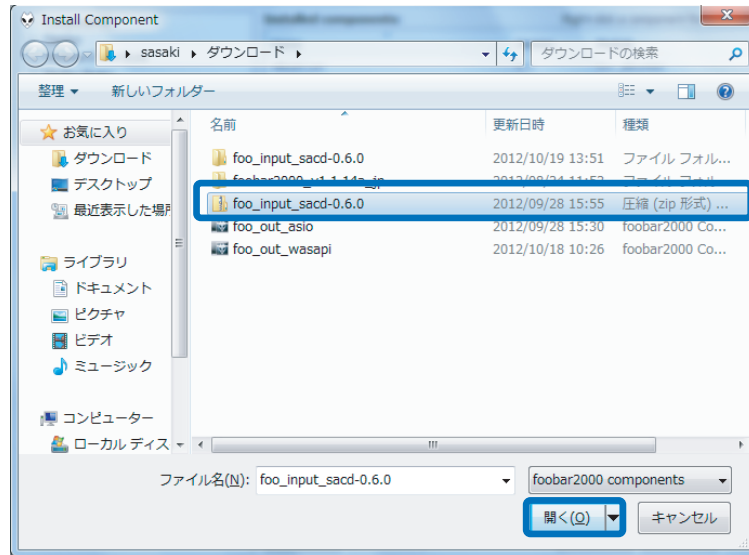
1. 【file】 ⇒ 【Preferences】 をクリックします。



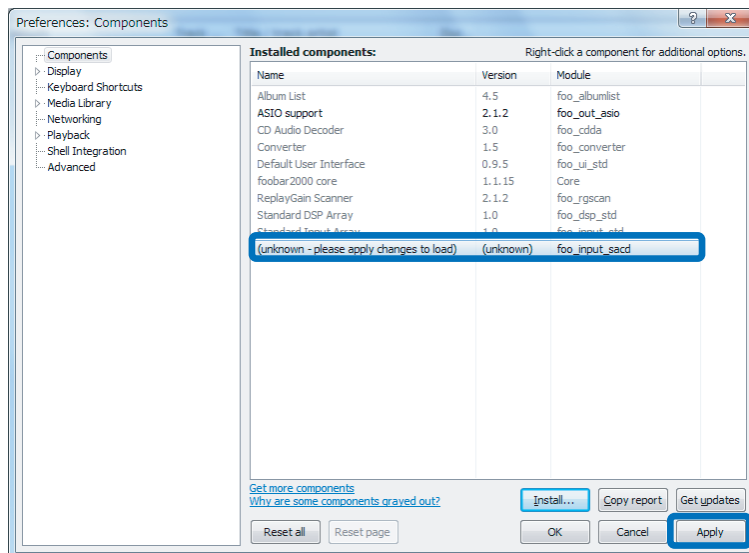
2. “Components” を開き、【Install...】 をクリックします。



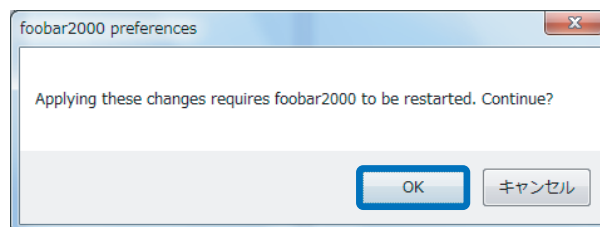
3. “foo\_input\_sacd-0.6.0” の圧縮ファイルを選択し、【開く】をクリックします。



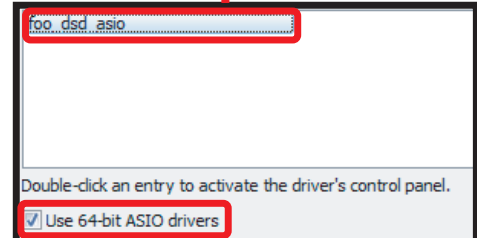
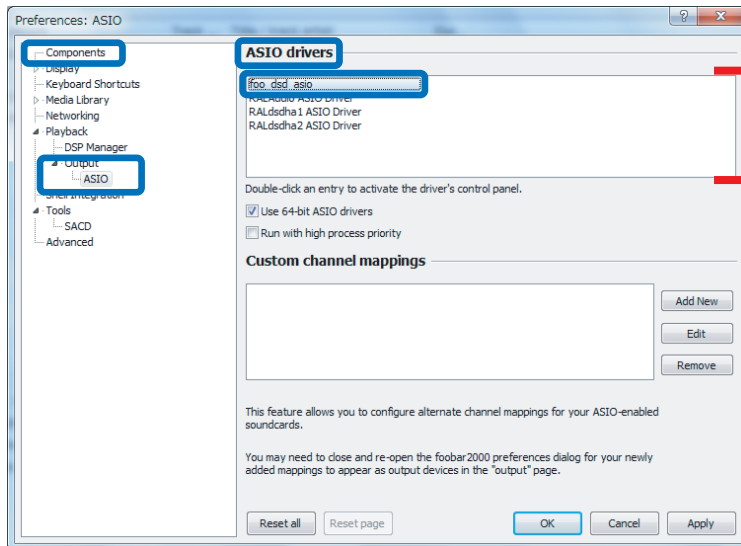
4. “foo\_input\_sacd” を選択し、【Apply】（日本語表記は適用）をクリックします。



5. 下記の画面が表示されます。【OK】をクリックします。



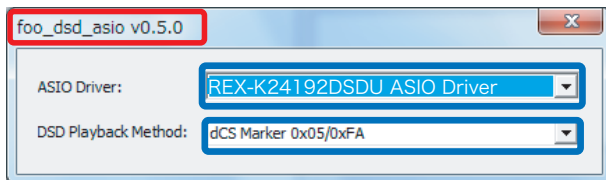
6. 【file】⇒【Components】⇒【Output】⇒【ASIO】のASIO drivers内“foo\_dsd\_asio”をダブルクリックします。



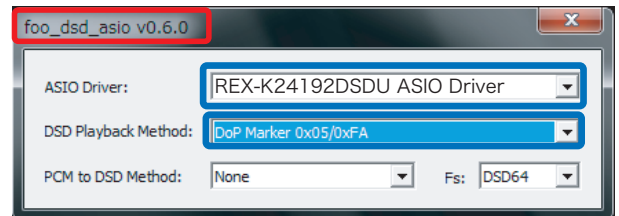
※ ASIO drivers 内に REX-K24192DSDU ASIO Driver が表示されていない場合は、“Use 64bit ASIO drivers” にチェックを入れ【Apply】⇒【OK】をクリックします。

7. ASIO Driver を“REX-K24192DSDU ASIO Driver”に、DSD Playback Method を“dCS Marker 0x05/0xFA”または“DoP Marker 0x05/0xFA”にそれぞれ設定し、画面を閉じます。

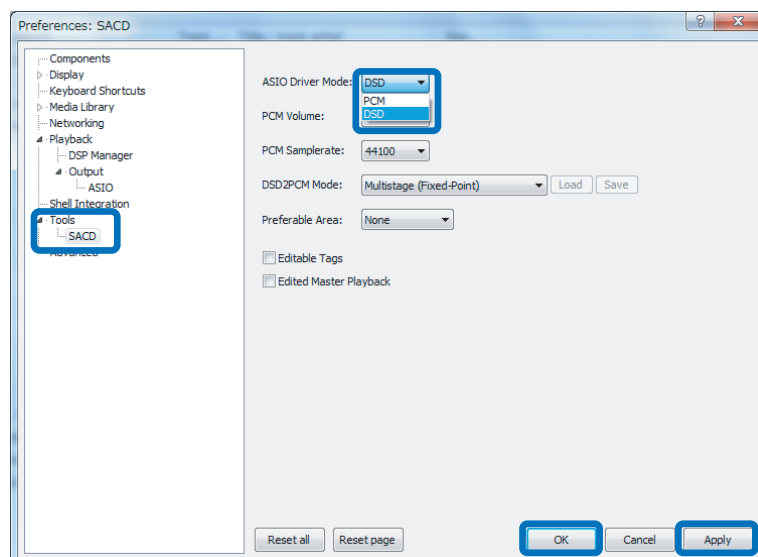
foo\_dsd\_asio v0.5.0 の場合



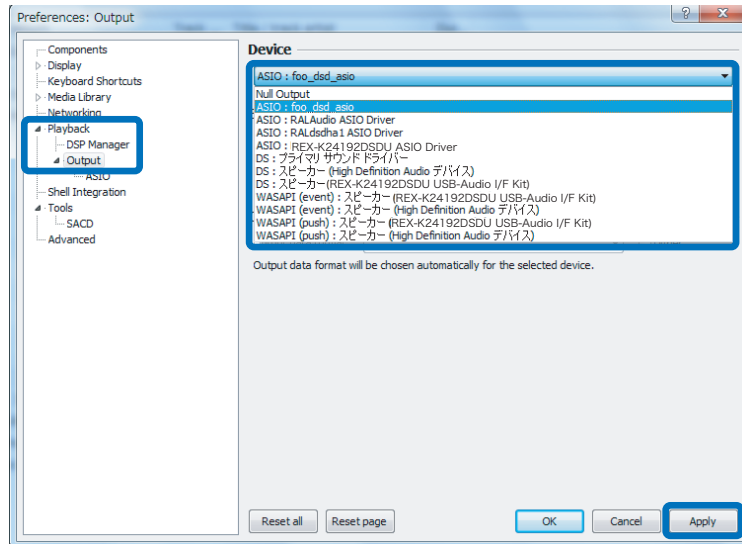
foo\_dsd\_asio v0.6.0 の場合



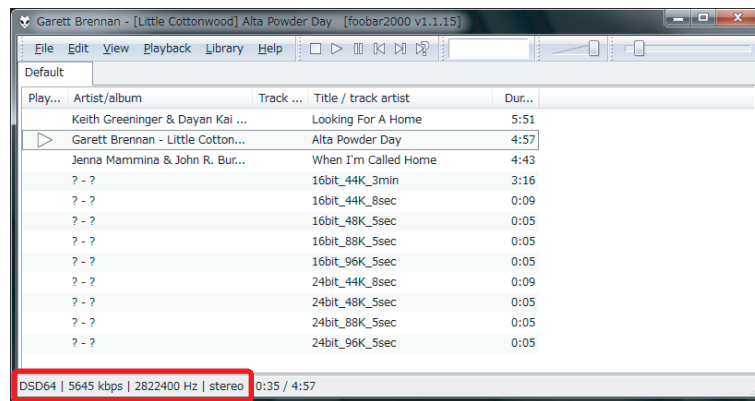
8. 【file】⇒【Preferences】⇒【Tools】⇒【SACD】のASIO Driver Mode を DSD に設定し、【Apply】⇒【OK】をクリックします。



9. 【file】 ⇒ 【Preferences】 ⇒ 【Playback】 ⇒ 【Output】 の Device を “ASIO : foo\_dsd\_asio” に設定し、【Apply】 ⇒ 【OK】 をクリックします。



以上で設定は完了です。プレイリスト内のお好みの DSD 音源を再生してください。



**DSD64 | 5645 kbps | 2822400 Hz | stereo**

※ DSD 音源がネイティブ再生されている場合、上記赤枠内のように表示されます。



リニア PCM 音源を再生するときも、音楽データを選択するだけ

リニア PCM 音源を再生する場合においても、上記の DSD 再生設定を変更する必要はありません。また、フォーマットが混在した同一プレイリスト内の再生もシームレスで再生することが可能です。

音楽データの転送方式を変更したい場合は、【file】 ⇒ 【Preferences】 ⇒ 【Playback】 ⇒ 【Output】 の Device より ASIO: REX-K24192DSDU ASIO Driver、DS:REX-K24192DSDU、WASAPI : REX-K24192DSDU などを設定してください。

## 4 再生ソフトとファイル形式について

有料ソフト JRiver Media Center を使用する DSD ダイレクト (DoP Standard 1.0 準拠) 再生について順を追って説明します。

※下記の設定は、REX-K24192DSDU のドライバーインストール後におこなってください。

### 【必要なソフトとコンポーネント】

・ JRiver Media Center (音楽再生ソフト)

### 【再生可能な DSD 音源のフォーマット】

- ・ DSF 形式ファイル
- ・ DSDIFF 形式ファイル

## 5 再生ソフトの購入

下記 URL にて JRiver Media Center を購入してください。

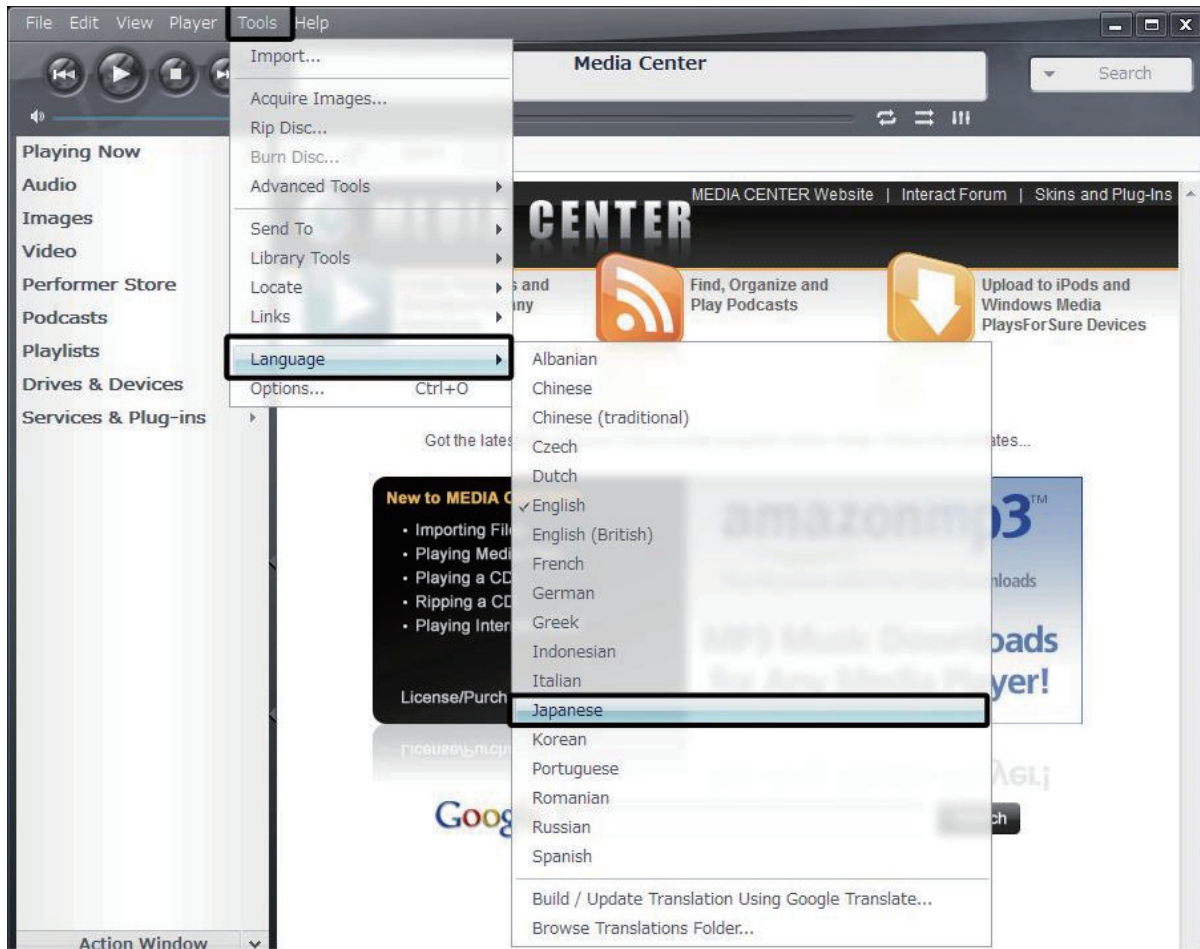
<http://www.jriver.com/download.html>



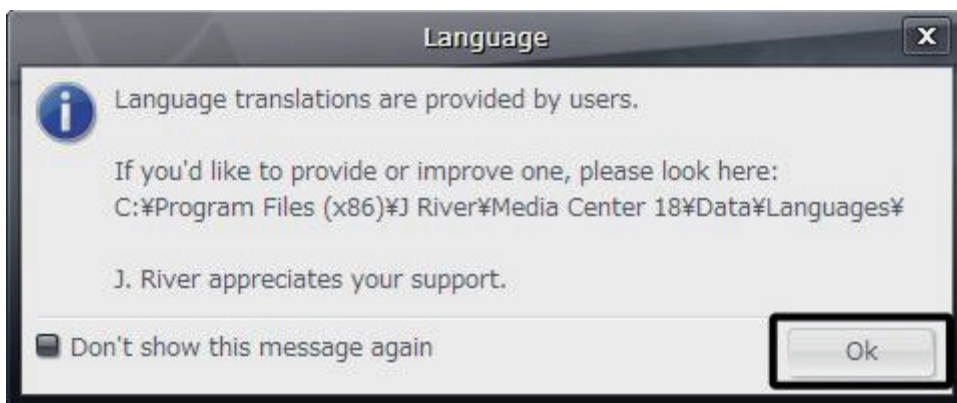
The screenshot shows the JRiver Media Center website. The header features the JRiver Media Center logo and navigation links: home, download, purchase, support, and company. The main content area is titled "Download the Free Trial of JRiver Media Center". Below the title, there is a section "How this works" and an "Install" section. At the bottom, there is a "Privacy policy" link, an "Email:" input field with "(Optional)" text, and a "DOWNLOAD MC18" button. The footer text reads: "JRiver Media Center 18 Ver. 18.0.106, 22.8MB. Windows 2000, XP, Vista, Windows 7, Windows Home Server, & Windows 8."

## 6 日本語に表記を変更する

1. JRiver Media Center を起動し、【Tools】⇒【Language】⇒【Japanese】をクリックします。



2. 下記の画面が表示されますので【OK】をクリックします。



以上で表記が日本語に切り替わります。



# 7 JRiver Media Center の再生設定

1. 【プレイヤー】⇒【再生オプション】をクリックします。



2. オプション画面の“出力モード”をクリックし、【WASAPI】を選択します。

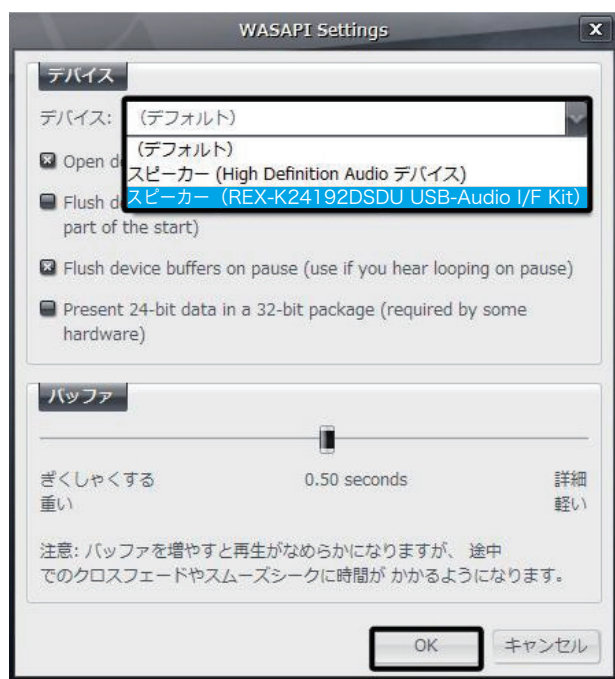


3. オプション画面の“出力モード設定”をクリックします。

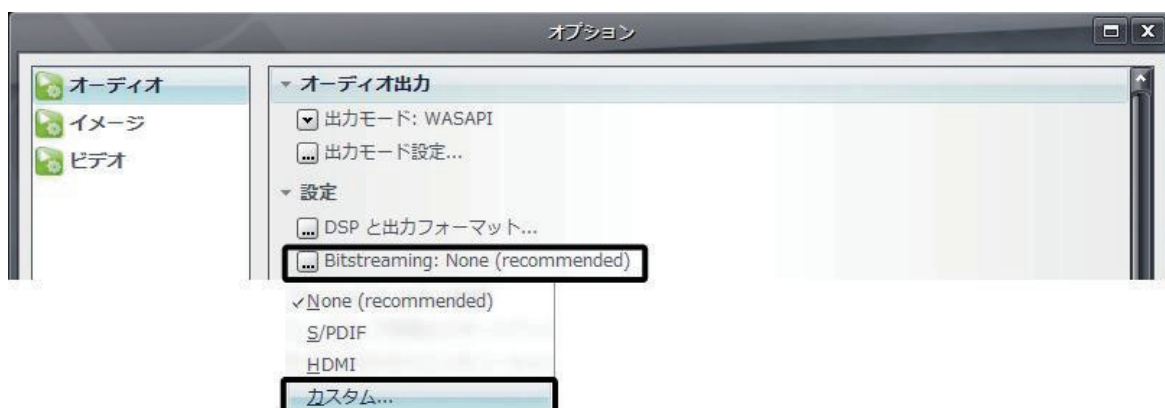




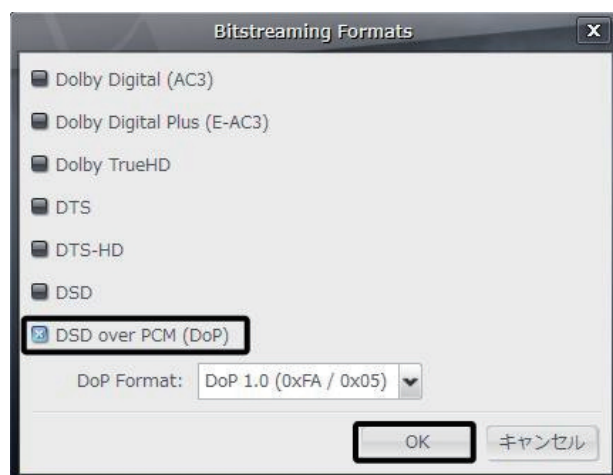
4. WASAPI Settings 画面の“デバイス”のプルダウンから【スピーカー（REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit）】を選択します。



5. オプション画面の“Bitstreaming”をクリックします。



6. Bitstreaming Formats 画面の【DSD over PCM(DoP)】を選択して【OK】をクリックします。



以上で設定は完了です。

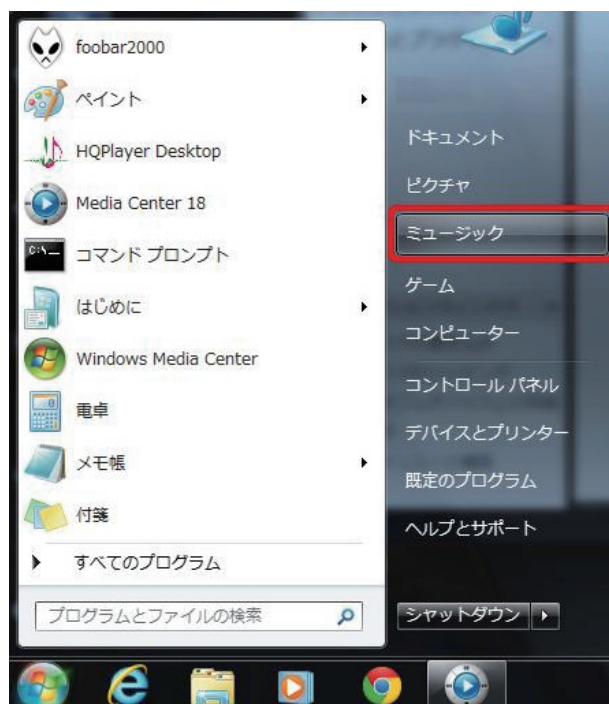
## 8 JRiver Media Center に音楽データを追加する

ここでは例として、ミュージックフォルダ内に保存された音楽データを JRiver Media Center のプレイリストに追加します。

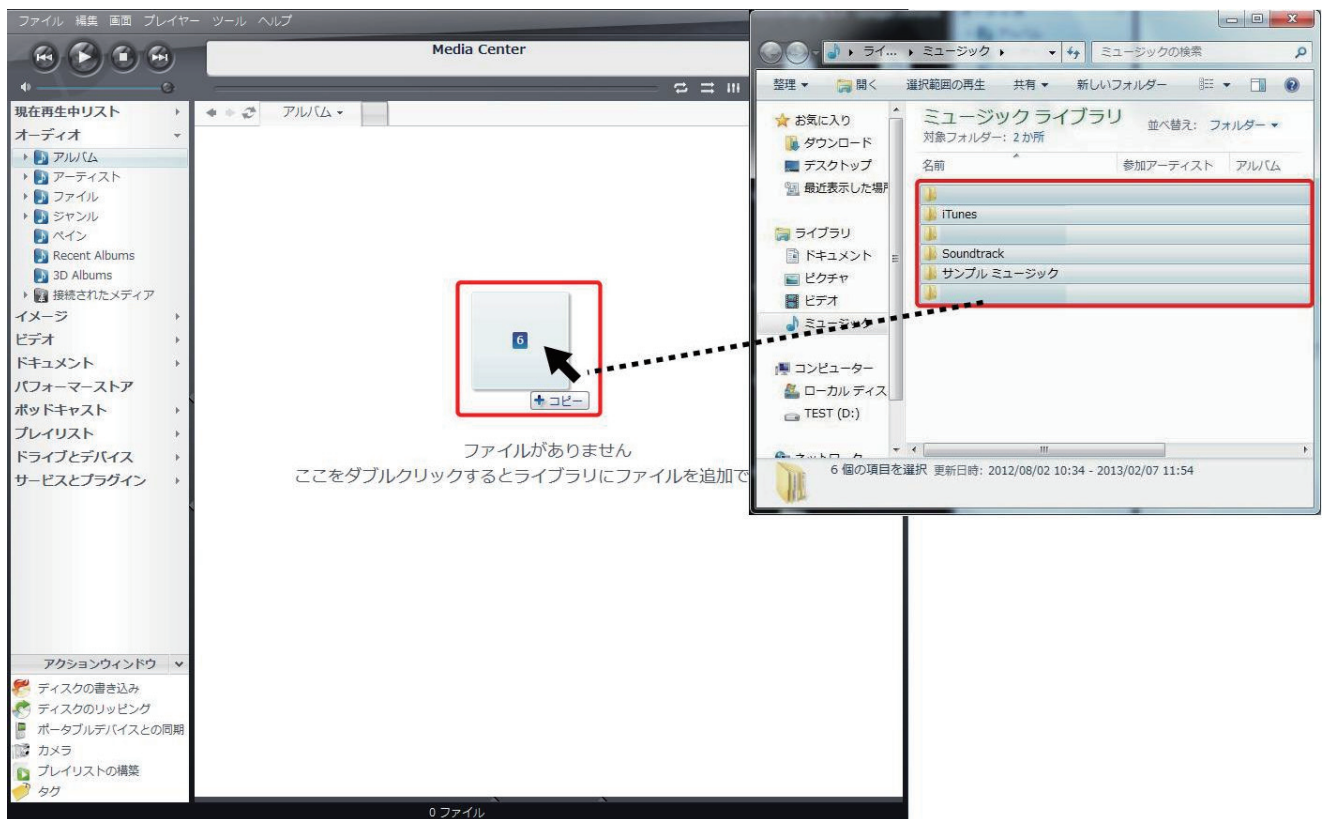
1. JRiver Media Center を起動し、“オーディオ”をクリックします。



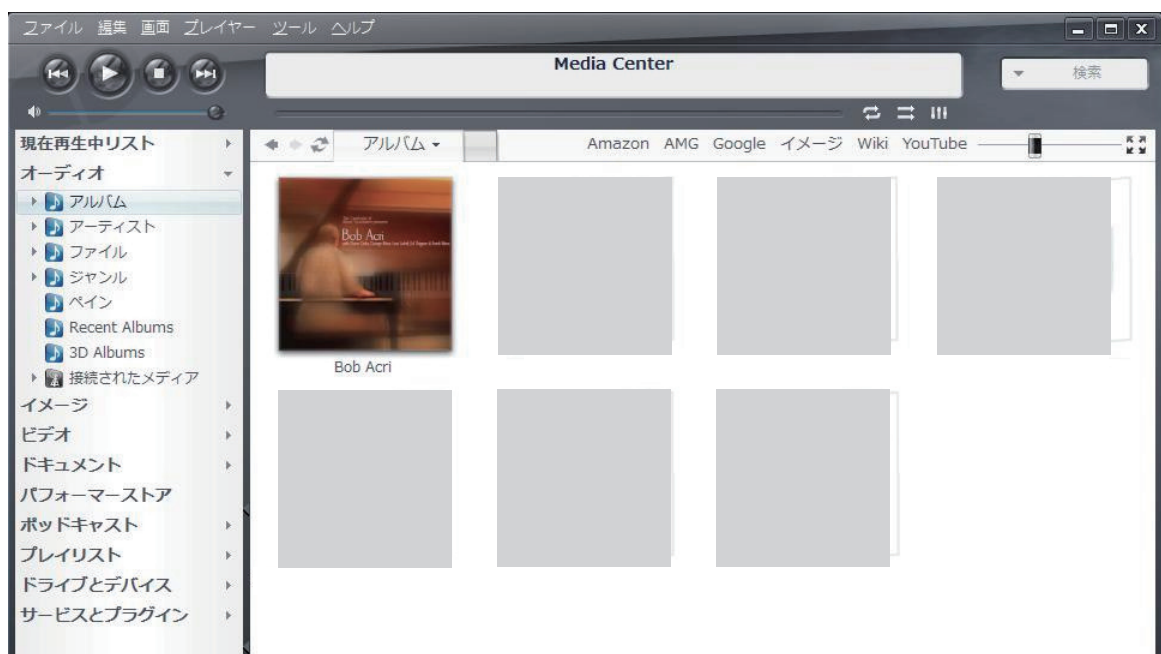
2. 【スタート】⇒【ミュージック】⇒音楽データファイルを表示します。



3. 音楽データファイルを選択し、JRiver Media Center 内の再生リスト内にドラック⇒ドロップで音楽データファイルを移動します。



4. しばらく待つと、再生リスト内に音楽データが反映されます。



※ハイレゾデータなどをデスクトップ上に保存している場合も、上記と同様にファイルを選択し、ドラック&ドロップで音楽データファイルを移動します。

## 9 再生ソフトとファイル形式について

有料ソフト HQPlayer を使用する DSD ダイレクト (DoP Standard 1.0 準拠) 再生について順を追って説明します。

※下記の設定は、REX-K24192DSDU のドライバーインストール後におこなってください。

### 【必要なソフトとコンポーネント】

- ・ HQ Player (音楽再生ソフト)

### 【再生可能な DSD 音源のフォーマット】

- ・ DSF 形式ファイル
- ・ DSDIFF 形式ファイル

## 10 再生ソフトの購入

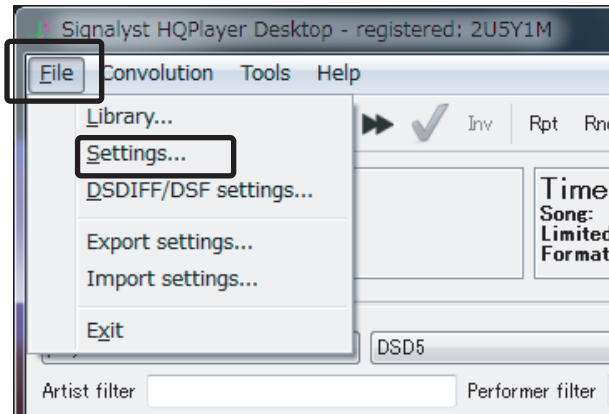
下記 URL にて HQ Player を購入してください。

<http://www.signalyst.com/consumer.html>

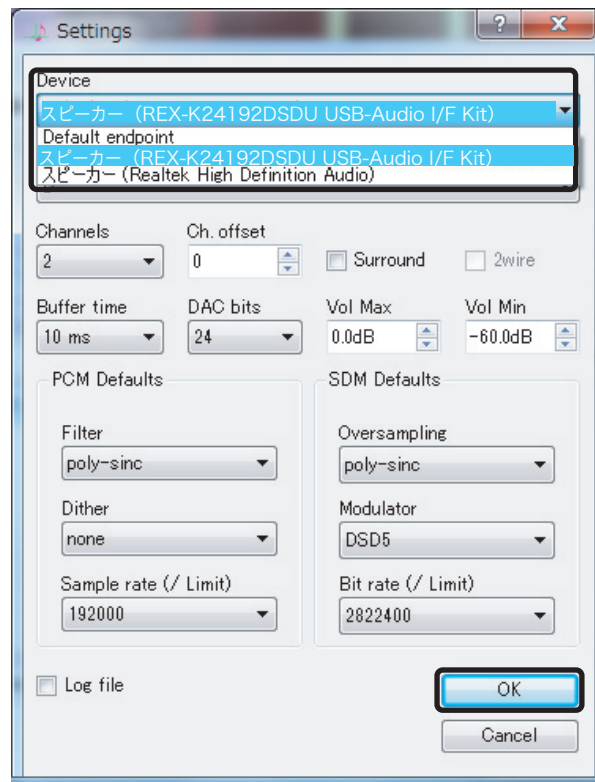


# 11 HQPlayer の再生設定

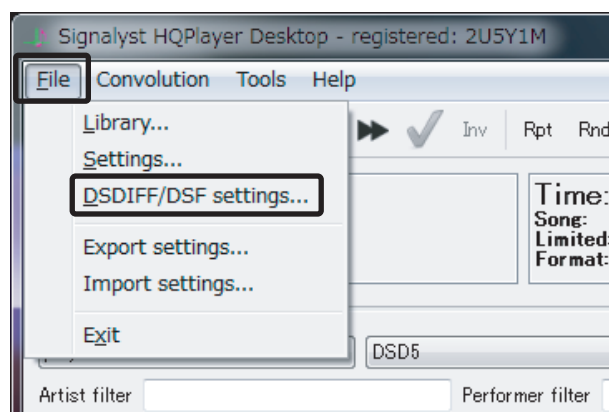
1. HQPlayer を起動し、【File】⇒【Settings...】をクリックします。



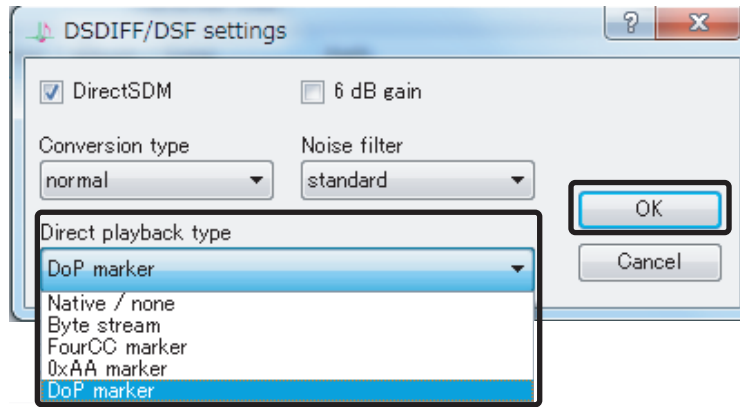
2. “Device”内の“スピーカー (REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit)”を選択し、【OK】をクリックします。



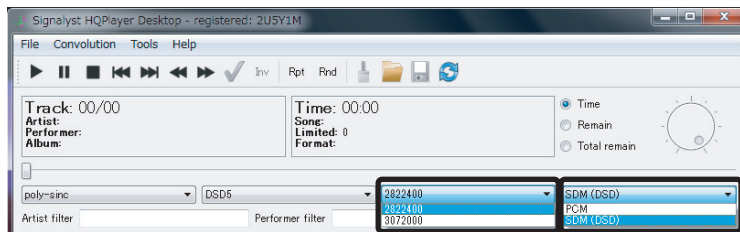
3. 【File】⇒【DSDIFF/DSF Settings...】をクリックします。



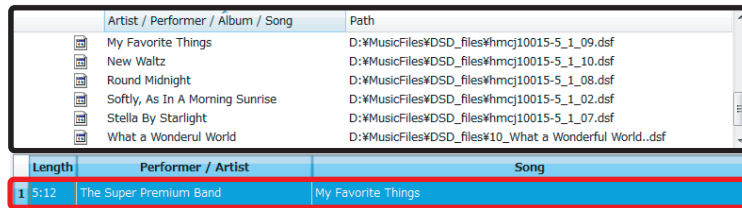
4. “Direct playback type” から “Dop marker” を選択し、【OK】 をクリックします。



5. 再生ファイル設定から “SDM (DSD) ”、サンプルレート設定から “2822400Hz” を選択します。



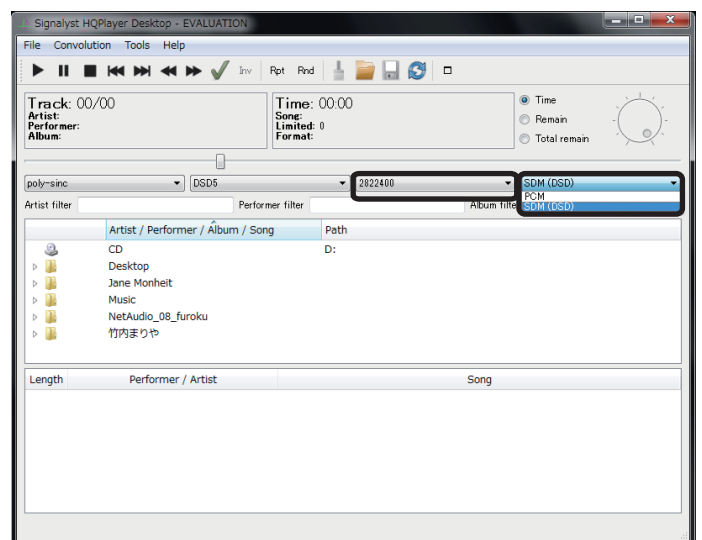
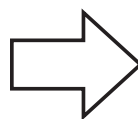
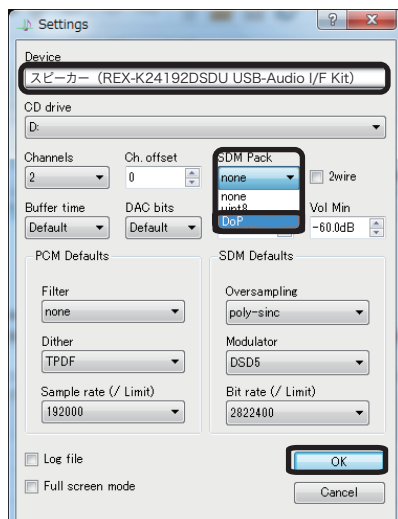
6. 再生ファイル選択用ウィンドウから音楽ファイルを選択（ダブルクリック）し、プレイリストに登録します。次にプレイリストの音楽ファイルをクリックすると、音楽が再生されます。



### HQPlayer のバージョンが V.3.0 以降の場合

【File】⇒【Settings...】⇒ “Device” 内の “スピーカー (REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit)” を選択⇒ “SDM Pack” のプルダウンより 【Dop】 を選択し、【OK】 をクリックします

再生ファイル設定から “SDM (DSD) ” を、サンプルレート設定から “2822400Hz” を選択します。





# DSD フォーマットの再生設定

## Mac 編

### Audirvana Plus で再生する

## 12 再生ソフトとファイル形式について

REX-K24192DSDU で DSD (DSDF/DSDIFF) ファイルをリニア PCM に変換せず再生するためには、有料の再生ソフトウェアが必要になります。

弊社推奨の環境である有料ソフト Audirvana Plus を使用する DSD ダイレクト (DoP Standard 1.0 準拠) 再生について順を追って説明します。

#### 【必要なソフト】

- ・ Audirvana Plus (音楽再生ソフト)

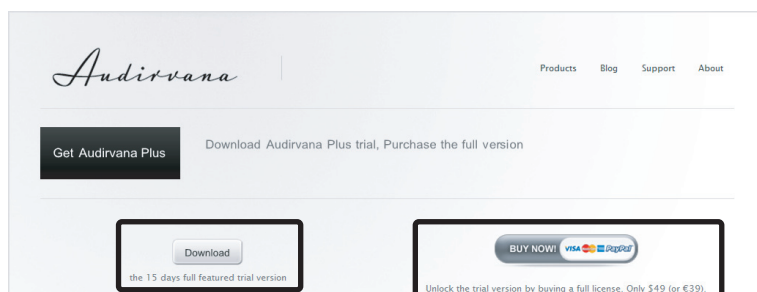
#### 【再生可能な DSD 音源のフォーマット】

- ・ DSF 形式ファイル
- ・ DSDIFF 形式ファイル

## 13 再生ソフトの購入

下記 URL にて Audirvana Plus を購入してください。

[http://audirvana.com/?page\\_id=112](http://audirvana.com/?page_id=112)



15日間の無料お試し版をインストールする場合は、こちらをクリックしてください。

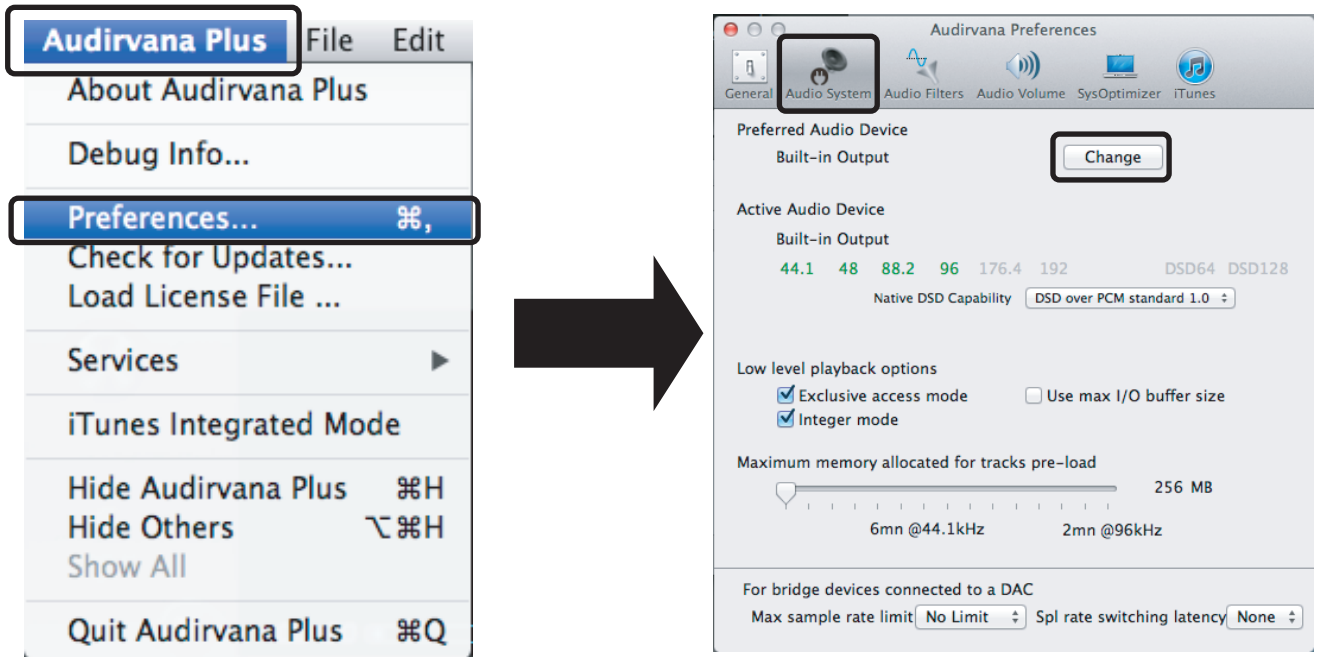
Audirvana Plus を購入する場合は、こちらをクリックしてください。



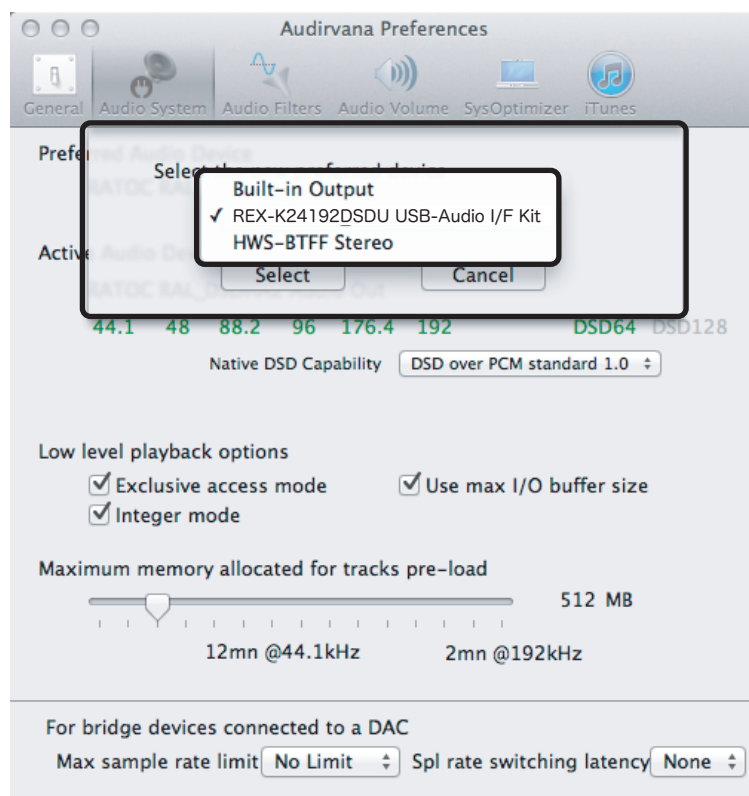
# 14 Audirvana Plus の再生設定

Audirvana Plus で DSD ネイティブ再生を可能にする設定をおこないます。アプリケーションを起動し、下記の手順に沿って設定をおこなってください。

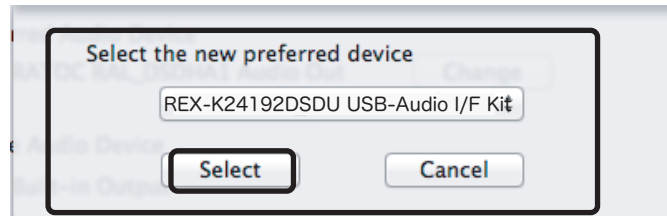
1. 【Audirvana Plus】 ⇒ 【Preferences】 をクリックし、設定画面を開きます。【Audio System】タブをクリックし、“Preferred Audio Device” 内の【Change】 をクリックします。



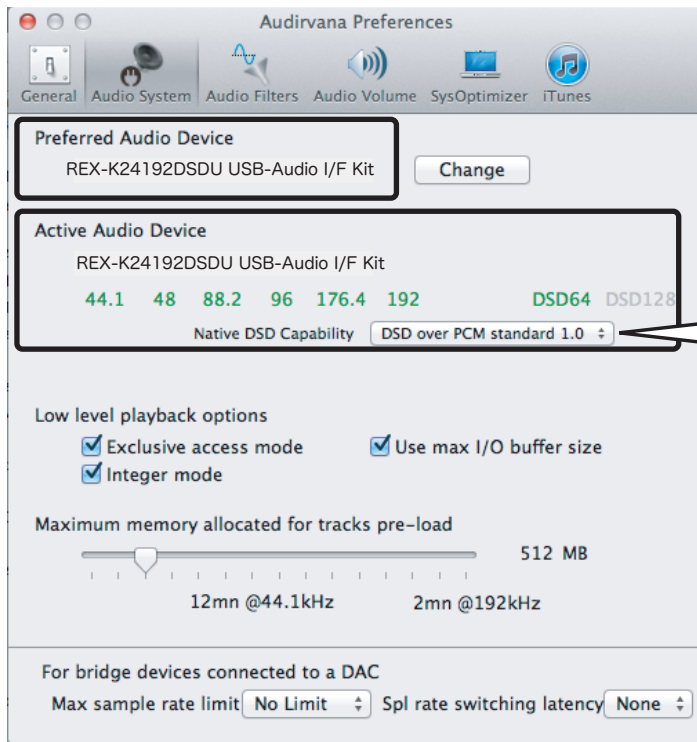
2. “Select the new preferred device” 内の “REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit” を選択します。



3. 【Select】 をクリックします。

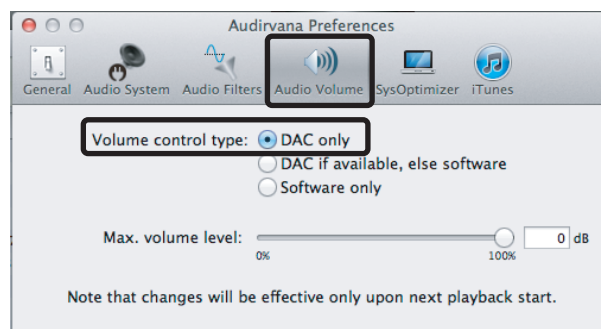


4. “Preferred Audio Device” に “REX-K24192DSDU USB-Audio I/F Kit” が設定されていることを確認します。また、“Active Audio Device” の「DSD64」表記が緑色になっていることを確認します。



“Native DSD Capability” が DSD over PCM Standard 1.0 に設定されていることを確認します。

5. 【Audio Volume】 タブをクリックし、“Volume control type” が “DAC only” になっていることを確認します。



以上で設定は完了です。プレイリスト内のお好みの DSD 音源を再生してください。

※ Audirvana Plus のボリュームは最大 (0dB) に設定してください。

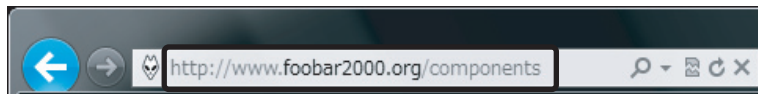
音楽が再生されない場合があります。

# foobar2000 の WASAPI 出力設定

対応 OS : Windows 8/7/Vista (SP2 以降)

通常の設定では、Windowsパソコンで再生されたデータはカーネルミキサーを経由してUSBオーディオより転送されますが、カーネルミキサーをバイパスすることにより音質向上が見込まれます。ここではカーネルミキサーをバイパスして再生する WASAPI 出力の設定方法について説明します。

1. インターネットブラウザを開き、下記の URL にアクセスします。  
<http://www.foobar2000.org/components>



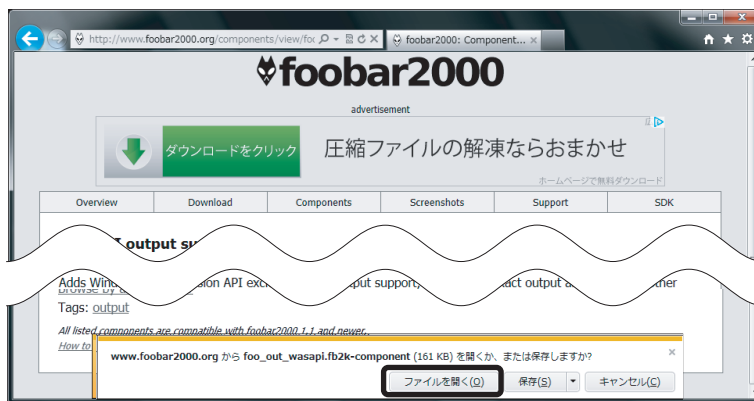
2. “WASAPI output support 3.0” をクリックします。  
※バージョンアップにより、下線部の表記は更新されます。



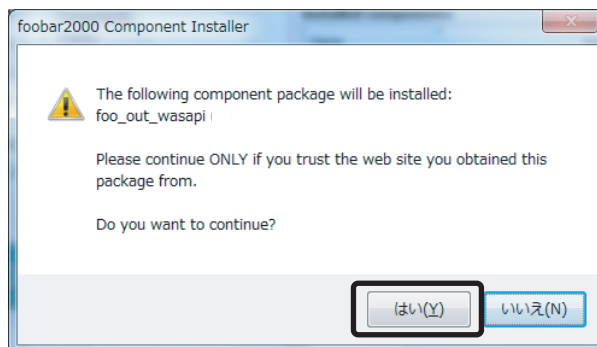
3. Links 内の【Download】をクリックします。



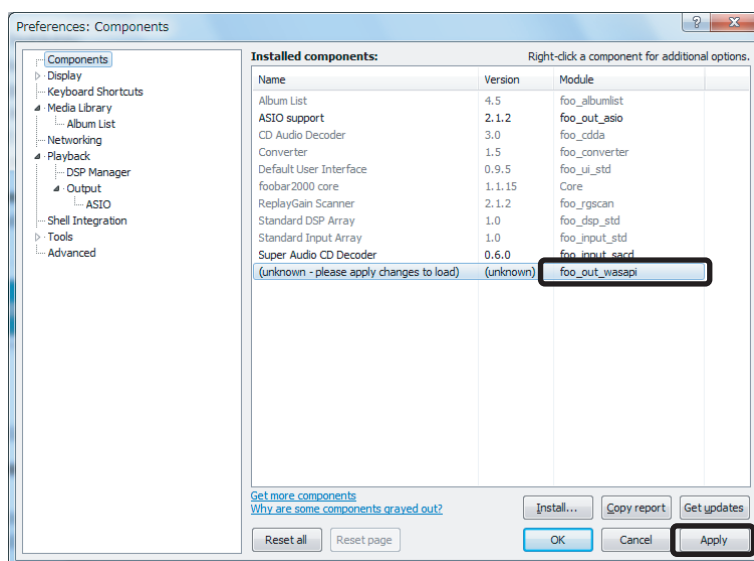
4. 【ファイルを開く】をクリックします。



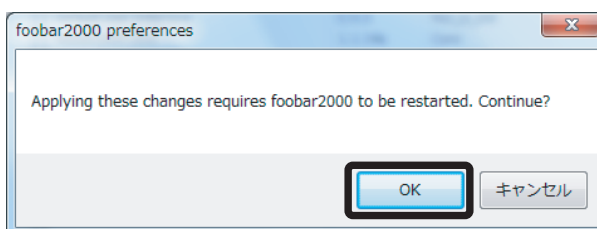
5. foobar2000 が起動し、下記の画面が表示されます。“はい”をクリックします。



6. 登録されたコンポーネントの Module 内に “foo\_out\_wasapi” が表示されます。“foo\_out\_wasapi” を選択し、【Apply】（日本語表記時は適用）をクリックします。



7. 下記の画面が表示されます。【OK】をクリックします。



以上で foobar2000 に foo\_out\_wasapi がインストールされました。

